

第2期総合戦略を着実に推進するため、PDCAサイクルの考えに基づき、成果指標の達成状況について令和4年度の評価を実施

- 40の指標のうち、29の指標が「上昇」(72.5%)
 - 「横ばい」の指標はなし
 - 11の指標が「低下」(27.5%)
- うち10の指標が新型コロナウイルス感染症の影響(25.0%)

《評価基準》

「上昇」 基準値に対し上昇

「低下」 基準値に対し低下

「横ばい」 基準値に対し横ばい(変動率±0.5%の範囲内)

基本目標	上昇	横ばい	低下		合計
			コロナ	その他	
1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する	7	0	3	0	10
2 岡山市への新しいひとの流れをつくる	3	0	1	0	4
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	5	0	0	1	6
4 安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する	14	0	6	0	20
計	29	0	10	1	40

※第2期総合戦略に係る43の指標(※再掲12指標を含む)のうち、指標の調査周期に当たらず、実績値の把握ができない指標3つ(※再掲1指標を含む)を除く

(参考) 地方創生推進交付金等を活用した事業に係る検証概要

令和4年度の成果指標の達成状況
… 13指標 / 18指標 (72.2%)

▶ 目標が達成できなかった5指標のうち、4指標が新型コロナウイルス感染症の影響(22.2%)

※現時点で実績値が判明している指標を母数として記載

＜推進交付金活用事業＞	達成状況
まちの持続可能な開発を実現する真の生涯活躍のまちづくり	未達成 / 2指標
アフターコロナ時代の移住定住促進プロジェクト	3指標達成 / 4指標
西川緑道公園周辺を軸とした都心の賑わい創出プロジェクト	3指標達成 / 3指標
岡山市版スタートアップ・エコシステム形成によるスタートアップ創出事業	3指標達成 / 3指標
岡山ブランド魅力発信事業	3指標達成 / 3指標
＜拠点整備交付金活用事業＞	達成状況
造山古墳が結ぶ・日本遺産群広域連携拠点整備プロジェクト	1指標達成 / 2指標
元気でず“おかやま”～バス・ゲートウェイ整備事業～	未達成 / 1指標
高松城址公園を中心とした歴史・観光拠点整備事業	供用開始前のため実績なし

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況にかかる検証一覧

資料3

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値 (R1)	R5.3.31時点 最新数値	目標値 (R7)	指標の評価		総合計画 政策番号	
								状況	コメント		
岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する	数値目標	1	産業観光局	企業立地・再投資件数(累計)(件)	60 (H28～R1)	90 (H28～R4)	116 (H28～R7)	上昇	コロナの長期化に加え、エネルギー価格・原材料価格等が高騰する中、地域未来投資促進法に基づく支援措置の活用や様々な機会を捉えた効果的な企業誘致活動を展開した結果、件数は増加した。	1	
		2	市民協働局	市内企業における管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合(%)	7.7 (H30)	10.9 (R3)	14.0 (R6) ※改訂予定 15.0 (R7)	上昇	企業や働く人を対象とする女性活躍の啓発事業等を行い、市内企業等における管理職に占める女性の割合は、R3年度調査では基準値より3.2ポイント増加した。今後も引き続き目標達成に向けて事業を推進していく。	13	
	(1)新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興	①地場産業の育成・強化	3	産業観光局	市の創業支援による創業者数(者)	22 (H30)	45	50	上昇	創業希望者への広報周知や支援を継続して行った結果、創業者数の増加に繋がった。	1
		③拠点性を活かした企業と人の集積	4	産業観光局	企業立地・再投資件数(累計)(再掲)(件)	60 (H28～R1)	90 (H28～R4)	116 (H28～R7)	上昇	コロナの長期化に加え、エネルギー価格・原材料価格等が高騰する中、地域未来投資促進法に基づく支援措置の活用や様々な機会を捉えた効果的な企業誘致活動を展開した結果、件数は増加した。	1
	(2)歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進	①観光の振興と情報発信力の強化	5	産業観光局	観光客数(千人)	7,575	5,093	9,487	低下	令和4年の観光客数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年、令和3年と比べ、回復傾向にある。	4
		②外国人観光客誘客と受け入れ体制の整備	6	産業観光局	観光客数(千人)(再掲)	7,575	5,093	9,487	低下	令和4年の観光客数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年、令和3年と比べ、回復傾向にある。	4
		③コンベンション誘致の推進	7	産業観光局	コンベンション参加者数(人)	162,348	73,427	207,000	低下	令和4年度は、開催件数、参加者数ともに前年度を上回り、回復傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による催事の中止や参加者数の減少等、依然として厳しい状況が続いた。	4
	(3)活力ある農業の振興	8	産業観光局	新規就農者数(人)	34	39	50	上昇	新型コロナウイルス感染症の影響に落ち着きが見られ、対面での就農相談の再開による就農希望者へのアプローチ増加、及び就農希望者の就農意欲の高まりから増加につながっている。	3	

基本目標	施策等		指標番号	担当	指標	基準値(R1)	R5.3.31時点最新数値	目標値(R7)	指標の評価		総合計画政策番号
									状況	コメント	
	(4)地域の活力を担う人材の育成・確保	①多様な人材が活躍できる環境づくり	9	保健福祉局	生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数(人)	26	353 (R3~R4)	750 (R3~R7)	上昇	適職診断フェアなどのPR活動や、企業との雇用条件の調整など丁寧な就労支援を行ったことにより、着実に実績を出している。	20
		②ICT人材の育成	10	教育委員会	授業でコンピュータなどのICTを毎日使用する子どもの割合(%)	小学校5.6 中学校3.8	小学校15.7 中学校 6.8	小学校100 中学校100	上昇	小・中学校ともに上昇しているが、いずれも目標値には達していない。そのため、計画的・系統的なICTを活用した授業と端末持ち帰りによる家庭学習の充実により、ICT活用を進める。	14
岡山市への新しいひとの流れをつくる	数値目標		11	市民協働局	移住定住支援により移住した人数(人)	30	164	90	上昇	令和3年6月に開設した「おかやまぐらし相談センター」が運用2年目を迎え、1年目から実施している首都圏、大阪圏の大学訪問、ホームページやウェブ広告等の広報により、認知が進み、相談件数や就職決定件数が前年度から大幅に伸びた。また、新たに二拠点居住者や移住者が活用できる住宅の購入・リフォーム補助を創設したことなどにより、基準値から大きく数字が伸びた。	4
	(1)移住・定住の促進	①相談体制や移住・定住への支援等	12	市民協働局	移住定住支援により移住した人数(人) (再掲)	30	164	90	上昇	令和3年6月に開設した「おかやまぐらし相談センター」が運用2年目を迎え、1年目から実施している首都圏、大阪圏の大学訪問、ホームページやウェブ広告等の広報により、認知が進み、相談件数や就職決定件数が前年度から大幅に伸びた。また、新たに二拠点居住者や移住者が活用できる住宅の購入・リフォーム補助を創設したことなどにより、基準値から大きく数字が伸びた。	4
	(2)新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の推進		13	保健福祉局	生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数(人) (再掲)	26	353 (R3~R4)	750 (R3~R7)	上昇	適職診断フェアなどのPR活動や、企業との雇用条件の調整など丁寧な就労支援を行ったことにより、着実に実績を出している。	20
	(3)地元大学等との連携		14	市民協働局	若者(20歳代)の地域活動への参加割合(%)	20.1	18.1 (R3)	25.1	低下	指標の市民意識調査は隔年実施であり、R4に実施していない。若者を対象にした地域活動への参加を促す取り組みを公民館等で行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域活動全般が低調となり、基準値から下落している。	13

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値(R1)	R5.3.31時点最新数値	目標値(R7)	指標の評価		総合計画政策番号	
								状況	コメント		
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	数値目標	15	岡山っ子育て成局	子育てしやすいまちと思う保護者の割合(%)	54.4(H30)	-	65.0(R5)	評価不能	当該指標(子ども・子育て支援に関するアンケート)は、「子育てしやすいまちと思うか」で、「そう思う、どちらかといえばそう思う」と回答した割合である。R4年度は調査がなかったため実績値はないが、R5年度に調査を実施する予定。最も大きな課題であった保育所等の待機児童数は改善しており、今後も引き続き子育て環境の整備を進めていく必要がある。	11	
		16	岡山っ子育て成局	保育所等の待機児童数(人)	259(R2.4.1)	1(R5.4.1)	0(R8.4.1)	上昇	待機児童の解消については、保育の受け皿整備と保育士確保が進んだことや、保育コンシェルジュによる寄り添う支援に力を入れた結果等により、ほぼ達成できた。	11	
		17	岡山っ子育て成局	放課後児童クラブの入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合(%)	77.3(R2.4.1)	89.2(R5.4.1)	100(R8.4.1)	上昇	積極的な施設整備により、受け入れ児童数は増加しており、割合は目標値に向けて着実に増加している。引き続き、施設整備や人員確保支援等の取組を進めていく。	11	
	(1)保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消	①幼保連携型認定こども園等の整備を推進 ②放課後児童クラブの整備を推進	18	岡山っ子育て成局	保育所等の待機児童数(人)(再掲)	259(R2.4.1)	1(R5.4.1)	0(R8.4.1)	上昇	待機児童の解消については、保育の受け皿整備と保育士確保が進んだことや、保育コンシェルジュによる寄り添う支援に力を入れた結果等により、ほぼ達成できた。	11
			19	岡山っ子育て成局	放課後児童クラブの入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合(%) (再掲)	77.3(R2.4.1)	89.2(R5.4.1)	100(R8.4.1)	上昇	積極的な施設整備により、受け入れ児童数は増加しており、割合は目標値に向けて着実に増加している。引き続き、施設整備や人員確保支援等の取組を進めていく。	11
	(2)結婚・出産・子育て支援	①妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援	20	岡山っ子育て成局	心豊かな岡山っ子応援団賛助団員(団体)	69	63	90	低下	寄附金による賛助団員数が減少しているため、目標値に向けて引き続き応援団の活動について周知を図っていく。	12
			21	岡山っ子育て成局	子育てしやすいまちと思う保護者の割合(%) (再掲)	54.4(H30)	-	65.0(R5)	評価不能	当該指標(子ども・子育て支援に関するアンケート)は、「子育てしやすいまちと思うか」で、「そう思う、どちらかといえばそう思う」と回答した割合である。R4年度は調査がなかったため実績値はないが、R5年度に調査を実施する予定。最も大きな課題であった保育所等の待機児童数は改善しており、今後も引き続き子育て環境の整備を進めていく必要がある。	11
	(3)ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進	①ワーク・ライフ・バランスの推進	22	市民協働局	仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合(%)	45.5(H30)	52.1(R3)	67.0(R6) ※改訂予定 70.6(R7)	上昇	シンポジウムや管理職向けセミナーなど男女が共に仕事と生活を両立できる環境づくりに向けた事業を実施し、R3年度調査では基準値より6.6ポイント増加した。引き続き目標達成に向けて事業を推進していく。	11

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値 (R1)	R5.3.31時点 最新数値	目標値 (R7)	指標の評価		総合計画 政策番号	
								状況	コメント		
安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する	数値目標	23	都市整備局	居住誘導区域内人口密度(人/ha)	58.4 (H27)	59.4 (R2)	59.6	上昇	都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進と関連施策の実施により、各地域の拠点性が高まり、居住誘導区域内の人口密度が向上したと考えられる。	5	
		24	保健福祉局	健康寿命(歳)	男性71.6 女性74.3 (H28) ※改訂予定 (算出方法修正) 男性71.7 女性74.4 (H28)	男性72.2 女性75.0 (R1)	男性72.6 女性76.2 (R4)	上昇	平成28年と比較し平均寿命・健康寿命ともに延伸しており、伸び幅は男性が同程度、女性は健康寿命の方が平均寿命の伸びを上回った。	20	
	(1)コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり	①計画的なまちづくりの推進	25	都市整備局	居住誘導区域内人口密度(人/ha)(再掲)	58.4 (H27)	59.4 (R2)	59.6	上昇	都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進と関連施策の実施により、各地域の拠点性が高まり、居住誘導区域内の人口密度が向上したと考えられる。	5
			26	都市整備局	JR岡山駅乗降客数(1日当たり)(万人)	13.9	11.9	14.3	低下	新型コロナウイルスの影響を受け減少しているものの、前年度と比較すると回復傾向にある。	2
		②公共交通の維持・確保	27	都市整備局	自宅から都心や身近な拠点に公共交通で30分以内に行ける人口(万人)	30.3 (H27)	-	36.1	評価不能		6
			28	都市整備局	生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)(地区)	3	6	8	上昇	目標値に向け、導入地区を増やしている。	6
		③まちなかの賑わい創出	29	産業観光局	中心市街地の歩行者通行量(人)	(平日)4,324 (休日)5,654 (H29)	(平日)3,502 (休日)4,653 (R3)	(平日)4,400 (休日)5,700	低下	調査日である令和4年3月は岡山県内はまん延防止等重点措置解除後のリバウンド防止特別対策期間であり、通行量は前回より減少した。	2
			30	都市整備局	JR岡山駅乗降客数(1日当たり)(万人)(再掲)	13.9	11.9	14.3	低下	新型コロナウイルスの影響を受け減少しているものの、前年度と比較すると回復傾向にある。	2
		④魅力的な商店街の振興	31	産業観光局	中心市街地の歩行者通行量(人)(再掲)	(平日)4,324 (休日)5,654 (H29)	(平日)3,502 (休日)4,653 (R3)	(平日)4,400 (休日)5,700	低下	調査日である令和4年3月は岡山県内はまん延防止等重点措置解除後のリバウンド防止特別対策期間であり、通行量は前回より減少した。	2

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値(R1)	R5.3.31時点最新数値	目標値(R7)	指標の評価		総合計画政策番号	
								状況	コメント		
	⑤文化芸術施設等を拠点とした文化振興やスポーツによる活力の創出	32	市民生活局	過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合(%)	57.3	41.7 (R3)	65.0	低下	新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度実績は41.7%と大きく落ち込んだ。令和4年度についても全般的にはコロナ禍以前の状況と比較すると十分とはいえないまでも、岡山フィルハーモニック管弦楽団の鑑賞者数など一部では回復がみられた。	9	
	(2)地域連携の推進 ①周辺地域の活性化	33	都市整備局	都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度(%)	37.8	43.4 (R3)	39.3	上昇	北長瀬未来ふれあい総合公園の整備が進むとともに、経済・産業の振興や地域の歴史・文化の継承など、地域の課題解決や地域資源を活用した魅力ある地域づくりに向けて様々な取組を行ったことにより、満足度が向上したと考えられる。	5	
	(3)健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源を生かした地域づくり	①生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり	34	保健福祉局	健康寿命(歳)(再掲)	男性71.6 女性74.3 (H28) ※改訂予定 (算出方法修正) 男性71.7 女性74.4 (H28)	男性72.2 女性75.0 (R1)	男性72.6 女性76.2 (R4)	上昇	平成28年と比較し平均寿命・健康寿命ともに延伸しており、伸び幅は男性が同程度、女性は健康寿命の方が平均寿命の伸びを上回った。	20
35			保健福祉局	生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数(人)(再掲)	26	353 (R3~R4)	750 (R3~R7)	上昇	適職診断フェアなどのPR活動や、企業との雇用条件の調整など丁寧な就労支援を行ったことにより、着実に実績を出している。	20	
36		保健福祉局	認知症サポーター数(人)	52,565	62,689	75,000	上昇	認知症サポーター養成数は着実に増加しており、感染症対策に留意した対面講座の実施、オンラインでの養成講座の取組の効果が表れていると考えられる。	21		
37		保健福祉局	生活・介護支援サポーター養成数(人)	1,362	1,589	2,080	上昇	担い手を発掘・育成し、地域活動の実践につなげるために身近な会場である公民館で講座を開催した。修了者数は目標に達していないが、担い手として活動へつなげることができた。	21		

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値(R1)	R5.3.31時点最新数値	目標値(R7)	指標の評価		総合計画政策番号
								状況	コメント	
	(4)安心に暮らせる地域づくり	38	危機管理室	自主防災組織率(%)	92.2	94.2	100	上昇	平成30年7月豪雨災害を教訓として、防災・減災対策に欠かすことのできない地域防災力(共助)を強化するため、100%を目標値としている。指標は上昇傾向にあるものの、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で総会の開催や自主防災組織の活動に必要な物資の購入等が進んでいない状況である。	24
	(5)地域の課題解決のための持続可能な取組	39	市民協働局	地域活動への参加割合(%)	45.3	39.9(R3)	50.8	低下	指標の市民意識調査は隔年実施であり、R4に実施していない。フォーラムや講座の開催、相談対応等様々な支援を行っているところだが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域活動全般が低調となり、基準値から下落している。	17
40		市民協働局	企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(団体)	40	47	65	上昇	各区に分かれて研修会を実施するなど活動の学び合いや情報を共有する取組等によって、少しずつ増加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全・安心ネットワーク活動を含む地域活動等が中止や自粛されたことから、伸び悩んでいる。	17	
41		市民協働局	ESDプロジェクト参加団体数(団体)	307	360	370 ※改訂予定 405	上昇	持続可能な社会づくりへの関心の高まりや岡山ESDプロジェクトの活動を積極的にPRしたこと、地域課題の解決に取り組む団体の裾野が広がり、目標値に向けて着実に増加している。	17	
42		環境局	環境局	温室効果ガス排出量(千t・CO ₂)	6,119(H29暫定)	5,283(R2暫定)	5,525(R5) ※改訂予定 5,141	上昇	新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の停滞が一部影響していると考えられるものの、太陽光発電設備等による再生可能エネルギーの導入促進や、LED照明設備等の導入による省エネルギー化の推進により、排出量は確実に減少してきており、目標を達成できると考える。	27

※ 上記表中の数値目標を「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山創生プロジェクト」(企業版ふるさと納税制度に係る地域再生計画)のKPIとして設定しているため、当該制度に係る検証を兼ねるものとする。

デジタル田園都市国家構想交付金

〔 地方創生推進タイプ／旧地方創生推進交付金
地方創生拠点整備タイプ／旧地方創生拠点整備交付金 〕

活用事業等 効果検証

政策局政策部政策企画課

(1) デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ／旧地方創生推進交付金）

事業名 まちの持続可能な開発を実現する真の生涯活躍のまちづくり

担当局 保健福祉局

事業概要

実施年度 H30年度～R4年度（5カ年）

単位：円	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
歳出（事業費）	57,710,854	161,314,807	134,740,085	122,463,810	82,591,034
歳入（交付金）	(28,802,637)	(80,657,403)	(67,370,042)	(61,231,905)	(41,295,517)

全体事業の概要	<p>特定健診の結果から、国民健康保険被保険者に対してAIによる将来予測および一人ひとりに適した生活習慣改善の取り組みを提示する「AIを活用した健康見える化事業」を実施する。</p> <p>また、生活習慣を改善するメニューを豊富なものとし、市民の健康な生活を習慣化するため、身近に健康づくりが行えるフィットネスや飲食店等のヘルスケア関連企業と新たなサービスの開発を行うとともに、サービスを利用することによるインセンティブ付与の仕組みを「SIBを活用したヘルスケア推進事業」で構築する。</p> <p>さらに、地域活動や企業活動の担い手の確保のため、高齢者等の就労課題がある人について、その人の状態に合わせた適切な就労支援機関につなげる「SIBを活用した生涯活躍就労支援事業」を行う。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ AIを活用した健康見える化事業 国民健康保険被保険者の特定健診データ等をAIで解析し、将来的な疾病リスクを見える化したうえで、一人ひとりに適した具体的な生活習慣改善メニューを提示し、行動変容につなげていく。 ○ SIBを活用したヘルスケア推進事業 35歳以上の岡山市民等を対象とし、「運動」「栄養・食生活」「社会参加」の取組についてインセンティブを付与することで、健康づくり無関心層を含めた多くの市民の健康づくりへの参加を促し、健康状態の改善と医療費の適正化を図る。 ○ SIBを活用した生涯活躍就労支援事業 民間就労支援機関と社会福祉協議会が連携し、高齢者等の就労支援や定着支援を行う。雇用先企業等に対しては、高齢者等の雇用に関する意識改革や労働条件の見直しを求めていく。

KPIの進捗状況

指標名	医療費抑制効果(千円)				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	-	57,600	136,800	255,600	378,000
実績値	-	86,379	181,022	308,337	-

指標名	生活習慣の改善に取り組んでいる人の数 (人)				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	-	6,000	7,000	9,000	-
実績値	-	2,658	4,056	5,683	-

指標名	ヘルスケア関連企業として生活習慣改善メニューを提供している企業の数 (社)				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	20	25	32	42	-
実績値	21	62	68	69	-

指標名	就労・社会参加につなげた高齢者等の人数 (人)				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	210	590	970	1,350	1,730
実績値	271	403	751	953	1,117

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	<p>地方創生に効果があった</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ AIを活用した健康見える化事業 AIによって判明した将来の健康リスクを見える化し、アプリによって日々の取組を支援することで、生活習慣改善に向けた行動変容を促すことができた。 ○ SIBを活用したヘルスケア推進事業 R3年度までの事業実施により、市民や従業員の健康に対する企業の意識の変容と、新たなサービスやメニューの開発等が促され、市民の身近に健康になる環境整備が進んだ。R4年度は第三者評価機関による事業の最終評価を行ったが、医療費抑制効果は目標には達しなかったものの、参加者は非参加者と比べ運動習慣や社会参加が改善又は維持されていたなどの一定の良い事業効果が見られた。 ○ SIBを活用した生涯活躍就労支援事業 企業へ的高齢者等の雇用に関する意識改革や労働条件の見直しについての理解促進は順調に進み、高齢者のニーズにあった就労のマッチング支援を行うことができた。
	<p>事業内容の見直し(改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ AIを活用した健康見える化事業 アプリ利用後の健診結果の分析やアンケートを実施し、事業効果を検証する。 ○ SIBを活用したヘルスケア推進事業 第三者評価機関による本事業の評価も踏まえ、引き続き、身近に健康的なサービスがある環境を整備し、より多くの市民が健康になれる環境づくりを、次年度以降の事業でも取り組んでいく。 ○ SIBを活用した生涯活躍就労支援事業 ボランティアに比べて支援時間がかかる就労へのニーズが高かったことや、SIBの活用の最終年度のため民間就労支援機関への振り分けを1月時点で終了したことにより、全体の人数としては伸び悩んだ。なお、2月以降も社会福祉協議会で受付・支援は継続し、次年度事業へ引き継いでいる。引き続き、利用登録者のニーズに合わせて、社会福祉協議会のボランティアセンター等関係機関と連携しながら、より効率的な支援を行っていく。
新年度事業見直し方針等	

事業名 アフターコロナ時代の移住定住促進プロジェクト

担当局 市民協働局、産業観光局

事業概要

実施年度	R3年度～R5年度（3カ年）
------	----------------

単位：円	R3年度	R4年度	R5年度
歳出（事業費）	63,038,706	57,401,738	
歳入（交付金）	(30,549,853)	(27,762,235)	

全体事業の概要	<p>①岡山市のことを知ってもらい、移住先として選ばれるための裾野を広げ、②移住するために最も重要な「しごと」を確実に確保するための支援を行い、③移住後の不安を解消するための支援まで、移住者それぞれに寄り添った支援を実施する。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響でテレワーク等の働き方の変化に対応し、④テレワーカー用お試し住宅、サテライトオフィス等の企業誘致を進める。</p> <p>これらの事業を確実に実施することで、地方移住への関心の高まりを逃すことなく移住者確保につなげる。</p>
事業内容	<p>1. 移住プロモーション</p> <p>本事業では、最新のデジタルマーケティング手法を活用し、ターゲットや地域、発信時間を定めて、ターゲット毎に異なるPR動画や情報を発信する。また、AI等を活用し、検索履歴から分析した各個人のニーズに応じた移住情報を、プッシュ型で発信することで、移住検討層をターゲットにした移住情報の発信も行う。</p> <p>また、産業振興部局とも連携しながら、テレワーク推進関係の支援メニューや、サテライトオフィス設置、創業支援関係等の情報も発信することで、起業を考えている方や、現在の仕事をつづけながら、地方で働くことを希望する方、または、地方にサテライトオフィス等の設置を検討している企業へのアプローチも行う。</p> <p>2. おかやまぐらし相談センター</p> <p>本事業では、東京と大阪に「おかやまぐらし相談センター」を開設し、移住希望者の要望が多かった「仕事さがし」「職業斡旋」について、職業安定法に基づく有料職業紹介事業の許可を受けた事業者、運営等を委託し、移住希望者のニーズ、適性等から、「おかやまぐらし相談センター」が掘り起こした企業とのマッチング、企業との調整（面接日程等）、履歴書の作成ポイント等、就職に至るまでの寄り添い支援を行い、移住先での確実な就職につなげる。</p> <p>これにより、移住先でのしごとの不安を解消し、さらには、移住後のしごとのミスマッチを防ぐことが可能となり、移住定住促進につながる。</p> <p>さらに、イベントやセミナーを実施し、積極的に東京圏と関西圏の大学に足を運び、UIターン就職を働きかけることで、東京圏と関西圏等に在住の若者の地方移住を強力に進める。</p> <p>また、岡山市内にも拠点を設け、就職先の地元企業を独自に開拓し、移住希望者のニーズに沿った企業を紹介することが出来るような仕組みをつくり、数百社以上の地元企業を独自に就労先企業として登録している。</p> <p>このように、複数拠点を整備し、大規模なUIターン就職支援を実施する事業は、政令指定都市では類をみない取組であり、これらの取組を実施することで、今まで、希望するしごとが見つからないため移住を諦めていた方や、移住やUIターンに興味なかった若者の地方移住を進めることが出来る。</p> <p>3. サテライトオフィス等の企業立地支援</p> <p>岡山市にはIT系専門学校が多く立地しているものの、卒業生の受け皿となるIT系企業が少なく、また、そのことは、専門学校の講師となる人材不足にもつながっている。岡山市と市内専門学校が「企業誘致及び人材育成に係る連携協定」を結び、企業訪問やイベント出展等を通じて、協働で企業誘致活動に取り組む。また、IT系企業が専門学校に外部講師として社員を派遣する際の経費の一部を補助する（交付金対象外）ことで、岡山市の人材育成を図るとともに、都市部の企業（社員）が岡山市へ足を運ぶきっかけをつくって、関係人口として関わってもらうことで、サテライトオフィス等の設置にも繋げる。</p> <p>4. オンライン移住相談</p> <p>東京と大阪の「おかやまぐらし相談センター」、岡山市役所内の相談窓口、で対面の移住相談とともにオンライン移住相談を実施することで、いつでも、どこからでも相談者は相談可能となることで、移住相談数の増加が期待できる。</p> <p>また、岡山市役所内にオンライン相談ができる通信環境を整備したことにより、市職員、地元の移住支援団体、その他専門機関等、相談内容に応じて、柔軟に対応することができ、移住する上での個別の不安解消につなげることができ、さらに、先輩移住者から地域の情報を直接聞くこともでき、移住前から、地域の先輩移住者と関わることで、移住後の人間関係に関する不安解消にもつながる。</p> <p>5. 交流会</p> <p>移住後の定着に繋げるため、先輩移住者や地域の方々との交流会を定期的を開催し、移住者の生活面等での相談に対応する。</p>

KPIの進捗状況

指標名	移住・定住支援により移住した人数(人)		
	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	70	75	80
実績値	71	164	

指標名	おかやまぐらし相談センターの支援により就職した人数(人)		
	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	30	35	40
実績値	3	23	

指標名	おかやまぐらし相談センターへの求人登録企業数(社)		
	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	220	110	110
実績値	206	127	

指標名	岡山移住プロモーションの動画再生回数(回)		
	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	1,000,000	500,000	500,000
実績値	1,447,419	506,472	

検証・見直し方針

KPIの進捗状況 の検証	<p>地方創生に効果があった</p> <p>○移住プロモーションについては、動画再生回数の目標値を達成し、移住関心層への情報発信を行うことができた。</p> <p>○おかやまぐらし相談センターについては、新型コロナ感染症の感染拡大による人流の抑制により目標値は下回ったが、令和4年度から東京の相談センターを利便性の高い場所へと移転したことなどもあり、全体的に年間を通して相談件数が増加し、就職した人数の増加につながった。</p> <p>○サテライトオフィス等の企業立地については、東京圏等での企業訪問や展示会出展等を行い、当市の立地環境や支援制度等を紹介することで、市内オフィスの見学や専門学校の特設授業への講師招聘が実現する等、企業が岡山市に関心を持ち、事業所開設の検討のために足を運んでもらう取組が進んでいると考えている。</p> <p>○オンライン移住相談では、場所や時間の制約等がなく、気軽に相談できるため、遠方からの相談者が出てきた。</p> <p>○交流会については、対面での開催を2回することができ、先輩移住者から話を聞いたり、移住者同士の交流により、お互いの不安を取り除く場となった。</p>
	<p>事業の継続</p> <p>今後の方針の理由</p> <p>○プロモーション動画については、ある程度長期間活用することを想定した汎用性の高いものを作成しているため、効果的な情報発信を行っていく。</p> <p>○東京や大阪で、移住相談の対応だけでなく、就職支援ができる相談窓口として「おかやまぐらし相談センター」の認知が進んでおり、今後も相談件数が増えることが期待できる。</p> <p>○オンライン移住相談や移住者交流会についても、移住希望者や移住者が気軽に不安を取り除ける場を継続して提供することにより、移住・定住を促進する。</p> <p>○企業訪問や展示会出展等を通じて東京圏等の企業と関係を構築し、講師派遣やオフィス見学等、実際に岡山市を見てもらう取組を継続しながら、将来的なサテライトオフィス等の誘致に繋げていく。</p>
新年度事業見直し方針等	

事業名 西川緑道公園周辺を軸とした都心の賑わい創出プロジェクト

担当局 都市整備局

事業概要

実施年度	R3年度～R5年度（3カ年）
------	----------------

単位：円	R3年度	R4年度	R5年度
歳出（事業費）	10,094,957	14,057,588	
歳入（交付金）	(5,047,478)	(7,028,794)	

全体事業の概要	<p>【事業の背景】</p> <p>○岡山市は、近畿と九州を結ぶ西日本の東西軸と山陰と四国をつなぐ南北軸のクロスポイントに位置しており、道路・鉄道・空路等の広域交通の結節点であり、中枢中核都市としてダム機能を担っている。</p> <p>○岡山県毎月流動人口調査の結果では、岡山市の社会動態（日本人）は、2017年までは転入超過であったが、2018年以降転出超過になっており（2019年421人の転出超過）、岡山市の人口ビジョンによれば、今後も人口減少は進んでいくことが見込まれる。人口減少が進むことにより、都心の賑わいの低下や地域経済の縮小が懸念されており、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、まちなかの人出はさらに減少しており、都心の賑わいづくりにも新しい生活様式への対応が求められている。</p> <p>○岡山市の代表交通手段をみると、昭和46年から平成24年の約40年間で、公共交通機関の利用や徒歩は著しく減少し、自動車利用が2.2倍に増加している。自動車の分担率は60%と全国的にも高水準となっており、自動車に過度に依存した状況にあり、滞留につながらないことから、まちなかの賑わいの低下につながっている。</p> <p>【全体事業の概要】</p> <p>「車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくり」をキーワードに、歩道の拡幅等による快適な歩行空間の整備、道路空間や公園等の公共空間の活用を通じて、居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成を地域と一体となり進めることで、回遊性の向上、歩行・滞留空間の創出による賑わいのあるまちづくりの実現を目指す。</p>
事業内容	<p>①西川エリアマネジメント事業</p> <p>○「安全で安心な住み続けられる街」へのルール作りや地域連携の推進(経済活動基盤強化)</p> <p>○エリアブランドのイメージを醸成する広報活動（情報発信）</p> <p>○新たな公園活用とにぎわいの創出(イベント)</p> <p>○都市再生推進法人の指定を目指し、まちづくり活動実績を積み上げるとともに、各種事業等の実施による収益確保の仕組みや運営体制の整備を図る</p> <p>②歩行者天国等イベントの実施</p> <p>③ライトアップイベント 西川夏あかり</p>

KPIの進捗状況

指標名	まちづくりやイベントへのボランティア参加人数(人)		
	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	10	20	30
実績値	13	88	

指標名	官民協働による公共空間を活用したイベント回数(回)		
	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	40	50	60
実績値	30	55	

指標名	総事業費に占める自己資金や協賛金等の割合(%)		
	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	90.8	88.8	85.8
実績値	94.1	75.0	

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	<p>地方創生に効果があった</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大がある程度落ち着き、イベント開催が可能となったことから、エリアマネジメント団体の収益が増えた。 個別の事業の検証については以下のとおり。</p> <p>○西川エリアマネジメント事業 イベント開催回数が増えたことで収益が増えた。また、都市再生推進法人(R4.3.8指定)として、引き続き、地域の町内会や自治防災会との共催による防災イベントやフリーペーパーの作成など地域を巻き込んだ事業を行うことができた。</p> <p>○歩行者天国等イベントの開催 新型コロナウイルスの感染拡大がある程度落ち着き、歩行者天国を3回開催できた。歩行者天国の実施にあたっては、学生を中心としたボランティア団体「N-ravi」がイベントの企画・運営に参加したことで、まちづくりやイベントへのボランティア参加人数が増えた。</p> <p>○ライトアップイベント 西川夏あかりの開催 後楽園や岡山城等のライトアップイベントと同時期に開催するなど連携を図ったことで、多くの来場者で賑わった。また、ライトアップイベントに合わせた音楽や飲食イベントも計画されるなど、イベントと連携した公園の活用ができた。</p>
	<p>事業の継続</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大がある程度落ち着き、イベント開催が可能となったものの、コロナ禍前の状態に戻ってはいないため、引き続き支援を続けていく。 エリアマネジメント団体として、都市再生推進法人に指定した「一般社団法人がらっと西川」を中心に地域と連携したイベントの開催や情報発信を通じて、地域コミュニティの醸成やプレイヤーの育成を行うとともに、収益確保や運営体制整備の支援を継続する。</p>
新年度事業見直し方針等	

事業名 岡山市版スタートアップ・エコシステム形成によるスタートアップ創出事業

担当局 産業観光局

事業概要

実施年度 R4年度～R6年度（3カ年）

単位：円	R4年度	R5年度	R6年度
歳出（事業費）	67,807,260		
歳入（交付金）	(33,903,630)		

全体事業の概要	<p>【事業の背景】</p> <p>岡山市では、「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的な施策として「新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興」を掲げ、「創業・起業支援」「市内中小企業の競争力強化」「企業誘致の推進」の3本柱に取り組んでいる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、価値観や行動様式が変化する中、イノベーションの必要性がこれまで以上に重要になっており、その担い手であるスタートアップの創出をより促進していくための支援は必要性、緊急性ともに高い状態にある。</p> <p>イノベーションを伴い、新たな市場を開拓することで、短期間で飛躍的な成長を目指すスタートアップについては、2019年8月1日にスタートアップ支援拠点「ももたろう・スタートアップカフェ（ももスタ）」を開設する等、中四国地方の市町村単位で唯一、スタートアップ支援事業に特化した形で取り組んでおり、スタートアップが生まれる素地が出来てきている。</p> <p>【全体事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none">○岡山市版スタートアップエコシステムの形成を促進することで、スタートアップが継続して生まれる好循環をつくる。○スタートアップが継続して生まれ、増加することにより、<ul style="list-style-type: none">①イノベーションと新規雇用が創出される②イノベーションを伴った事業を生み出し、新たな市場の開拓、外貨の獲得、地域のデジタル化、市民生活の向上へ寄与する③地域経済が活性化されることによる市民の所得増、税収増④起業しやすい街となることでの若年層の定住率の向上 <p>が見込まれ、その結果、地域経済の活性化、人口増加の好循環を生み出すことを目指すもの。</p>
事業内容	<p>ももスタを中心とした「岡山版スタートアップ・エコシステム」を形成し、その中で、様々なステークホルダーが自発的に関わることが出来るコミュニティの形成に向けた支援、環境づくりを行う。</p> <p>1 スタートアップ支援拠点運営事業</p> <p>官民連携組織によりスタートアップ支援拠点「ももたろう・スタートアップカフェ（ももスタ）」を運営し、起業家や投資機関などのステークホルダーのコミュニティ形成を図る。</p> <p>2 スタートアップ支援事業</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 起業家の掘り起こし等に繋がるイベント開催、起業家創出・事業成長のための集中支援(2) スタートアップの成長の鍵となる資金調達環境の強化を目的としたプログラムの実施(3) スタートアップと市が協働し、行政・社会課題の解決に取り組むプログラムの実施

KPIの進捗状況

指標名	市の創業支援による創業者数（人）		
	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	35	40	45
実績値	45		

指標名	ももスタで開催されるイベントへの参加者数（人）		
	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	1,000	1,500	2,000
実績値	1,245		

指標名	ベンチャーキャピタル等から投資が行われたスタートアップ企業数（社）		
	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	3	6	9
実績値	3		

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	地方創生に効果があった
	<p>令和4年度は市の創業支援による創業者数及びイベント参加者数の目標値達成とともに、長期的な視点が必要となるベンチャーキャピタル等からの投資についても目標値を達成しており、市内におけるスタートアップが創出される土壌は着実に成長していると考えます。</p>
新年度事業見直し方針等	追加等さらに発展させる
	<p>スタートアップ支援に繋がるイベントやプログラムの開催により、起業に関心を持つ層の裾野の拡大に一定程度の効果があったものと考えます。</p> <p>今後は、若い世代から起業に関心をもってもらうため、中学・高校生の起業家精神醸成や起業家的資質向上を目的とした体験プログラムの実施、また、エンジニア人材不足が課題となっている中、起業家のビジネスアイデア実現やビジネスプラン成長に必要なスキル習得を支援するプログラムを実施する等、岡山市の経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援メニューを強化し、スタートアップが創出され成長が促進される環境づくりに取り組んでいく。</p>

事業名 岡山ブランド魅力発信事業

担当局 産業観光局

事業概要

実施年度	R4年度～R6年度（3カ年）
------	----------------

単位：円	R4年度	R5年度	R6年度
歳出（事業費）	11,873,310		
歳入（交付金）	(5,805,795)		

全体事業の概要	<p>・都市ブランドになっている果物等を活かして、儲かる農業の仕組みを構築するため、以下の内容を目指す。</p> <p>①首都圏を中心に岡山市産農産物の情報（生産方法、こだわり、希少性など）を広くPRし、他の産地の農産物と差別化することで付加価値を高め、知名度を上げる。</p> <p>②首都圏の飲食店が岡山市産農産物を使った商品の開発・販売に取り組むことで、農産物の味、利用方法等の魅力を更にPRでき、その商品で売り上げに貢献した飲食店への販路を拡大する。</p> <p>③首都圏における農産物の知名度向上・販路拡大によって、農業者の所得増加と意欲向上を図り、「儲かる農業」として後継者・担い手の確保につなげる。</p> <p>④首都圏でフェアを実施することで、岡山市の認知度向上を図り、また、首都圏での取組を岡山市でも実施することで、観光誘客によって岡山市への人の流れを拡大させ、観光客に農産物をPRするほか、市民に地元農産物への愛着を涵養し、地産地消の機運醸成につなげるなど、関係人口の増加と地域経済の活性化につなげる。</p> <p>・首都圏で岡山市産農産物の付加価値及び認知度を上げて販路を拡大することで、儲かる農業の実現を目指し、さらには岡山市での農業の担い手の増加につなげる。</p>
事業内容	<p>【岡山地産メニューフェア】</p> <p>・産地訪問ツアー 首都圏の飲食店のシェフを岡山市に招き、岡山市の農産物や生産者と直接触れ合う機会を設け、岡山市産農産物の魅力を知ってもらう。</p> <p>・岡山地産メニューフェア 産地訪問ツアーに参加したシェフに岡山市の農産物を使った商品を開発してもらい、首都圏で岡山地産メニューフェアを開催して販売する。シェフに対しては、飲食店の売上に貢献できる農産物であると認識してもらい、岡山地産メニューフェア参加者に対しては、岡山市の農産物の魅力を知ってもらい、飲食店への販路拡大や取引量の増加、農産物を含めた岡山市の認知度向上を図る。</p> <p>・PR 岡山市農産物の生産情報（生産方法、こだわり、希少性、主な特徴等）の動画をSNSで広くPRすることで、消費者の興味・関心を高めるとともに、他の産地の農産物と差別化して付加価値を高め、知名度の向上を図る。 飲食店の情報提供サービスを運営している民間企業がもつサービス利用者の情報や、民間企業が保有する年齢や性別、嗜好などのインターネット利用者の情報を活用し、岡山地産メニューフェアに参加する可能性が高いターゲットを絞り込み、ターゲットングメールや広告（WEB広告、SNS広告）により岡山地産メニューフェアをPRする。 また、岡山地産メニューフェアに参加した人にアンケートを実施して、性別、年齢層、嗜好等の情報を収集し、次年度のターゲットング広告の精度・効果を上げる。</p> <p>・岡山市産農産物の講習会 産地訪問ツアーに参加していないシェフや、参加したが岡山市産農産物を取り扱っていないシェフに対し、岡山市産農産物の魅力を伝えるため、産地訪問ツアーに参加して岡山市産農産物を取り扱っているシェフによる講習会を開催する。 講習会後には、講習会に参加したシェフと岡山市産農産物の生産者をオンラインで繋ぎ、新たな取引に向けて支援する。</p> <p>・観光誘客と地産地消の機運醸成 令和4年度の岡山デスティネーションキャンペーンに合わせて、岡山地産メニューフェアを岡山市でも開催し、観光誘客、観光客への農産物PR、市民に地産地消の機運醸成を図る。</p> <p>【岡山サンドイッチフェア】</p> <p>・農産物を使用した商品の開発・販売 首都圏を中心にサンドイッチ専門店28店舗を展開する企業とコラボし、岡山市の農産物を使ったサンドイッチのメニューを開発・販売する。これにより、販売店に対しては売上に貢献できる農産物であると認識してもらい、サンドイッチ購入者に対しては岡山市の農産物の魅力を知ってもらうことで、販路拡大や取引量の増加、農産物も含む岡山市の認知度向上を図る。</p>

KPIの進捗状況

指標名	生産者と飲食店等の取引継続件数（件）		
	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	3	3	3
実績値	4		

指標名	アンケートによる岡山市農産物の認知度（%）		
	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	20	25	33
実績値	30		

指標名	首都圏における岡山地産メニューフェア事業に参加したシェフ数（人）		
	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	10	10	20
実績値	10		

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	地方創生に効果があった
	KPI①については、達成済み。KPI②、③については、首都圏におけるメニューフェアに10店舗の飲食店が参加し、実施したアンケートでは岡山市農産物の認知度は30%となり、効果が見られた。メニューフェアでは12種類の岡山市産農産物が使用され、サンドイッチフェアでは岡山市産フルーツを使用したサンドイッチを2種類販売し、岡山市産農産物の認知度向上に繋がった。
新年度事業見直し方針等	事業の継続
	引き続き継続して実施していくことで、新たな農産物の取引の機会の創出と、岡山市産農産物の『高品質、おいしい』といったイメージの定着を図る。

(2) デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ／旧地方創生拠点整備交付金）

事業名	造山古墳が結ぶ・日本遺産群広域連携拠点整備プロジェクト
担当局	産業観光局

事業概要

実施年度	R元年度
------	------

単位：円	R1年度		
歳出（事業費）	54,614,710		
歳入（交付金）	(25,375,000)		

全体事業の概要	造山古墳ビジターセンターを整備することにより、造山古墳をはじめとする吉備路全体の魅力向上や周遊観光の促進を図る。また、校外学習としての活用を推進し、より多くの子どもたちの地域文化への理解、郷土愛の醸成を通じて将来的な地元定着の促進を図るとともに、文化財である造山古墳の歴史的・文化的価値や魅力を積極的に発信し、愛護意識の醸成を図る。
事業内容	<p>(1) 広域観光の推進 ビジターセンターを新設し、造山古墳はもとより周辺の日本遺産構成文化財や観光施設についても併せて情報発信するとともに、日本遺産関連事業とも連携し、吉備路の広域周遊観光の促進を図る。</p> <p>(2) 地元定着の促進 校外学習として利用する小学校をより一層拡大することに努め、子どもたちの地域文化に対する理解や郷土愛の醸成を通じて将来的な地元定着の促進を目指す。</p> <p>(3) 文化財としての価値の周知と愛護意識の醸成 地元観光ボランティアによる普及活動に加えて、同センターにおいて造山古墳の概要や歴史的背景などを積極的に情報発信し、同古墳の魅力や歴史的、文化的価値のより一層の周知を図るとともに、愛護意識の醸成を推進する。</p>

KPIの進捗状況

指標名	造山古墳ビジターセンター来館者数（人）				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	13,000	13,260	13,530	13,870	14,300
実績値	8,700	15,787	15,880	18,582	

指標名	観光客入込客数（吉備路）（千人）				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	990	1,000	1,015	1,030	1,045
実績値	960	375	189	723	

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	地方創生に非常に効果的であった
	令和2年3月末に造山古墳ビジターセンター整備が完了し、令和2年4月にオープンした。令和2年以降、観光客の動向が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中においても、来館者数が好調に推移するなど成果を上げている。
新年度事業見直し方針等	事業の継続
	<p>○今後の方針の理由</p> <p>今後も造山古墳ビジターセンターを活用した造山古墳や周辺観光施設の情報発信に取り組む。</p> <p>地元の観光ボランティア団体等と連携しながら造山古墳の魅力や歴史的、文化的価値のより一層の周知を図る。</p>

事業名	元気で“おかやま”～バス・ゲートウェイ整備事業～
-----	--------------------------

担当局	都市整備局
-----	-------

事業概要

実施年度	R元年度
------	------

単位：円	R1年度		
歳出（事業費）	71,599,000		
歳入（交付金）	(28,715,284)		

全体事業の概要	岡山市営駅南駐車場において、本市の玄関口にふさわしい待合所を整備し、更なる観光誘客の推進を目指す。また、豪雨災害からの復興に向けて、建設にはC L T材を用い岡山県産材の普及促進による地場産業の活性化を図るとともに、太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用と「晴れの国 おかやま」としてのイメージ回復を目指す。
事業内容	<p>(1) 受入体制の強化と観光誘客の推進 本市の玄関口にふさわしい木のぬくもりあふれる待合所を整備し、受入体制の強化を図るとともに、市内観光関連団体等によりリニューアルされた本施設の情報提供や日本遺産関連事業におけるモニターツアー等での利用促進を図り、更なる観光誘客の推進を目指す。</p> <p>(2) 豪雨災害からの復興に向けた地域産業の活性化 岡山県真庭市（岡山連携中枢都市圏連携市）が普及を推進しているC L T（直交集成板）を用い建築することにより、C L T建築物の実物に触れる機会を創出するとともに、C L Tの概要、魅力等を掲示し、岡山県産材の利用促進を図る。</p> <p>(3) 豪雨災害からの復興に向けた「晴れの国 おかやま」としてのイメージ回復 太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用を推進するとともに、「晴れの国 おかやま」のP Rを行い、本市のイメージ回復を図る。</p>

KPIの進捗状況

指標名	駅南駐車場利用台数（大型バス）（台）				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	16,252	16,672	17,102	17,542	17,992
実績値	14,260	7,393	8,399	10,080	

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	<p>地方創生に効果がなかった</p> <p>令和元年度は、整備工事（令和2年3月末完成）を実施した年度であり、工事スペースとしてバスの駐車枠を長期間減らしたこともあり、例年より大型バス利用は減少している。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年度以降は大型バスの利用が大幅に減少した。令和4年度からは回復傾向にあるので、今後の利用状況を踏まえ事業効果を整理する。</p>
新年度事業見直し方針等	<p>事業の継続</p> <p>令和5年度の実績を踏まえて、事業効果を検証する。</p>

事業名 高松城址公園を中心とした歴史・観光拠点整備事業

担当局 都市整備局

事業概要

実施年度	R4年度
------	------

単位：円	R4年度		
歳出（事業費）	72,796,588		
歳入（交付金）	(34,312,182)		

全体事業の概要	<p>○岡山市は豊富な歴史・文化資源に恵まれており、国指定史跡数は18であり、政令指定都市の中では、京都市に次いで2番目となっている。市の中心部には岡山城や岡山後楽園、周辺地域には造山古墳（全国第4位の規模の前方後円墳）を始め、吉備津神社や吉備津彦神社等の全国有数の歴史・文化資源があり、これらの周辺地域の歴史・文化資源をストーリーとした「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」は日本遺産に認定されている。</p> <p>○周辺観光の観光客数は888千人（令和2(2020)年）となっており、後楽園・岡山城周辺の観光客数907千人と同等の観光客数となっており、周辺観光は岡山市の観光にとって必要な位置づけとなっている。</p> <p>○岡山市の観光入込客数は、平成28（2016）年の8,297千人をピークに横ばいとなっている。さらに、令和2(2020)年1月より世界中で広がった新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数は激減し、特に、新型コロナウイルス感染症流行前に増加傾向にあったインバウンドに関して、令和2（2020）年8月では、流行前の平成30（2018）年同月比と比較して約99%の減少となっている。</p> <p>○歴史の転換期となる「高松城の水攻め」で有名な、高松城址公園周辺には、高松城址本丸、清水宗治の首塚、水攻築堤跡等の遺跡も残っており、周遊観光における重要な観光資源であり、この資源を活用した観光商品の開発とPRを行い、さらに、高松城址公園に訪れた観光客を、その他の周辺観光や岡山城等への観光に繋げることで、岡山市全体の観光客の増加、特に滞在型観光客の増加を目指す。これらを戦略的に行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだ観光業等（交通機関・宿泊施設・飲食業・観光施設・土産店等）を早急に回復させ、地域の雇用や、経済の回復、そして、更なる地域経済の活性化を目指す。</p>
事業内容	<p>「高松城址公園資料館新築事業」</p> <p>○既存の資料館をリニューアルすることで資料館自体の集客を増やすとともに、周辺の観光情報の継続的な発信を行うことで、広域周遊観光の促進を図る。</p> <p>○高松城址の概要紹介パネル（高松城の水攻めの様子や時代背景等）を作成するとともに、出土品や歴史資料を効果的に展示することにより、来館者に対して高松城址公園及び日本遺産の魅力を発信する。</p> <p>○新設する資料館に液晶案内モニター、椅子等を設置し、日本遺産構成文化財の中心的役割を担う施設として充実させる。また、小学校の校外学習に活用し、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。</p>

KPIの進捗状況

指標名	観光客数（岡山市吉備路）（人）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
目標値	960,000	970,000	980,000	995,000	1,010,000
実績値	-				

指標名	高松城址公園資料館来館者数（人）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
目標値	10,000	11,000	12,500	14,500	17,000
実績値	-				

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	地方創生に効果がなかった 令和4年度は新築事業を実施し、新資料館のリニューアルオープンは令和5年6月4日からとなり、これからの事業効果を見込んでいる。
新年度事業見直し方針等	事業の継続 令和5年6月4日に新資料館がリニューアルオープンしたことから、事業効果が高まるように取り組む。

1. 国の戦略改訂（令和4年12月23日）

まち・ひと・しごと創生総合戦略



デジタル田園都市国家構想総合戦略

【国の改訂趣旨】

国の責務

「デジタル田園都市国家構想」の実現を目指し、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化



地方の役割

地域の個性や魅力を活かした地域ビジョンを再構築し、具体的な取組を果敢に推進する

※ 国からの通知事項

◎ 地方版総合戦略の改訂（努力義務）

- ・ 国の総合戦略を勘案し、地方版総合戦略の策定・改訂に努めること

2. 市の対応方針

国の総合戦略、市DX推進計画、後期中期計画におけるKPIの修正等を踏まえ、市の総合戦略を改訂

※ 具体的な改訂内容案

◎ 国の総合戦略を踏まえ、デジタル化に関する内容を反映

- ・ 各基本目標の「基本的方向」等に、「デジタル技術を活用」する旨の文言を追記

◎ 市のDX推進計画を踏まえ、デジタル化に関する内容を反映

- ・ 各関係項目に、DX推進計画における「地域社会のDX」の内容を組み込む
（例：「イノベーション創出」、「IoT・AI等の活用」、「機械化・省力化」等の追記）

◎ 「具体的な事業」欄にデジタル関連の新規事業を追加、変更のあった事業の名称等を修正

◎ 後期中期計画におけるKPIの修正を反映

第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略新旧対照表

旧	新
<p style="text-align: center;">第2期岡山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p style="text-align: center;">令和3年4月 岡山市</p> <p>目次（略）</p> <p>I 総合戦略の基本的な考え方</p> <p>1. 基本的な枠組み</p> <p>（1）位置づけ</p> <p>第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、第2期総合戦略という)は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、「岡山市第六次総合計画後期中期計画」と整合性をとりながら、活力ある地域社会の実現を図ることを目指す。</p> <p>（2）計画期間</p> <p>令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間</p> <p>（3）計画の進行管理</p> <p>第2期総合戦略では5年間の取組に対する政策分野の基本目標に係る数値目標を設定するとともに、それぞれの具体的な施策については重要業績評価指標(KPI)を設定し、検証・改善を図る仕組みとしてPDCAサイクルを運用する。</p> <p>また、住民代表や産官学労言などで構成する推進組織である「岡山市まち・ひと・しごと創生市民会議」や市議会による検証も実施しながら、必要に応じて施策や事業の追加、見直し等を行い、第2期総合戦略の改訂を行っていく。</p> <p>2. 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるこれまでの取組</p> <p>平成27年10月に策定した岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、第1期総合戦略という)においては、「岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する」「岡山市への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する」という4つの基本目標の達成に向けて、地方創生推進交付金等を活用し</p>	<p style="text-align: center;">第2期岡山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略 <u>～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～</u></p> <p style="text-align: center;">令和〇年〇月〔改訂〕 岡山市</p> <p>目次（略）</p> <p>I 総合戦略の基本的な考え方</p> <p>1. 基本的な枠組み</p> <p>（1）位置づけ</p> <p>第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、第2期総合戦略という)は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、「岡山市第六次総合計画後期中期計画」と整合性をとりながら、活力ある地域社会の実現を図ることを目指す。</p> <p>（2）計画期間</p> <p>令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間</p> <p>（3）計画の進行管理</p> <p>第2期総合戦略では5年間の取組に対する政策分野の基本目標に係る数値目標を設定するとともに、それぞれの具体的な施策については重要業績評価指標(KPI)を設定し、検証・改善を図る仕組みとしてPDCAサイクルを運用する。</p> <p>また、住民代表や産官学労言などで構成する推進組織である「岡山市まち・ひと・しごと創生市民会議」や市議会による検証も実施しながら、必要に応じて施策や事業の追加、見直し等を行い、第2期総合戦略の改訂を行っていく。</p> <p>2. 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるこれまでの取組</p> <p>平成27年10月に策定した岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、第1期総合戦略という)においては、「岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する」「岡山市への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する」という4つの基本目標の達成に向けて、地方創生推進交付金等を活用し</p>

ながら取り組んできた。

令和元年度末での検証を実施した結果、企業立地推進等の「しごと」については成果が出ている一方で、移住・定住の促進については、転出超過に転じた。

この成果と課題をいかし、第2期総合戦略を策定し、取組を進めていく。

【基本目標1】

- 本社・中四国支店等誘致をはじめとする各種補助制度の創設によるインセンティブ付与や、空港南産業団地の整備による企業立地等を進め、新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興を推進してきた。
 - ・市内就業者数 366,876人(H24) → 386,521人(H29)(目標値達成)
 - ・企業立地・再投資件数 8件(H27) → 68件(H27～R1)
 - ・新規常用雇用者数 85人(H27) → 946人(H27～R1)
- 平成30年に認定された日本遺産や、造山ビジターセンターを活用した観光振興を積極的に推進してきた。

【基本目標2】

- 全国的に東京一極集中の傾向が進む中、転入超過者数(日本人のみ)は、転出超過となっている。一方で、コロナ禍の中、転出抑制の傾向もみられる。
 - ・転入超過者数 700人(H26) → ▲421人(R1)

【基本目標3】

- 懸案とされてきた待機児童については、保育の受け皿の整備に加えて、保育士確保に向けて、民間保育士の処遇改善等を実施することで、待機児童数の減少を実現。保育ニーズの高まりによる入園希望者の増加が引き続き見込まれることから、より一層取組を推進していく。
 - ・保育所等の待機児童数 729人(H28.4.1) → 157人(R2.10.1)

【基本目標4】

- 中心市街地においては、路面電車の乗り入れを含めた駅前広場整備事業、県庁通りの再整備(一車線化)、緑のボリュームアップ、岡山芸術交流、岡山芸術創造劇場の整備などを推進し、魅力と賑わいのある中心市街地の創出を進めてきた。
 - ・快適で賑わいのある都心づくりの満足度 20.4%(H27) → 32.3%(R1)
- 周辺地域においては、地域住民と協働で持続可能な生活交通の導入を進めるとともに、地域おこし協力隊の導入や、地域住民が協働し、地域課題の解決や地域づくりのための諸事業を推進し、活力ある地域づくりを進めてきた。
 - ・生活交通導入地区数 5地区(R2.10.1)(目標値達成)
 - ・地域おこし協力隊導入数 4人(H28.7) → 13人(R2.3.31)(目標値達成)
- 健康ポイント事業や、生涯活躍就労支援事業等を実施し、生涯にわたり健康でいきいきと

ながら取り組んできた。

令和元年度末での検証を実施した結果、企業立地推進等の「しごと」については成果が出ている一方で、移住・定住の促進については、転出超過に転じた。

この成果と課題をいかし、第2期総合戦略を策定し、取組を進めていく。

【基本目標1】

- 本社・中四国支店等誘致をはじめとする各種補助制度の創設によるインセンティブ付与や、空港南産業団地の整備による企業立地等を進め、新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興を推進してきた。
 - ・市内就業者数 366,876人(H24) → 386,521人(H29)(目標値達成)
 - ・企業立地・再投資件数 8件(H27) → 68件(H27～R1)
 - ・新規常用雇用者数 85人(H27) → 946人(H27～R1)
- 平成30年に認定された日本遺産や、造山ビジターセンターを活用した観光振興を積極的に推進してきた。

【基本目標2】

- 全国的に東京一極集中の傾向が進む中、転入超過者数(日本人のみ)は、転出超過となっている。一方で、コロナ禍の中、転出抑制の傾向もみられる。
 - ・転入超過者数 700人(H26) → ▲421人(R1)

【基本目標3】

- 懸案とされてきた待機児童については、保育の受け皿の整備に加えて、保育士確保に向けて、民間保育士の処遇改善等を実施することで、待機児童数の減少を実現。保育ニーズの高まりによる入園希望者の増加が引き続き見込まれることから、より一層取組を推進していく。
 - ・保育所等の待機児童数 729人(H28.4.1) → 157人(R2.10.1)

【基本目標4】

- 中心市街地においては、路面電車の乗り入れを含めた駅前広場整備事業、ハレまち通り(旧県庁通り)の再整備(一車線化)、緑のボリュームアップ、岡山芸術交流、岡山芸術創造劇場の整備などを推進し、魅力と賑わいのある中心市街地の創出を進めてきた。
 - ・快適で賑わいのある都心づくりの満足度 20.4%(H27) → 32.3%(R1)
- 周辺地域においては、地域住民と協働で持続可能な生活交通の導入を進めるとともに、地域おこし協力隊の導入や、地域住民が協働し、地域課題の解決や地域づくりのための諸事業を推進し、活力ある地域づくりを進めてきた。
 - ・生活交通導入地区数 5地区(R2.10.1)(目標値達成)
 - ・地域おこし協力隊導入数 4人(H28.7) → 13人(R2.3.31)(目標値達成)
- 健康ポイント事業や、生涯活躍就労支援事業等を実施し、生涯にわたり健康でいきいきと

生活できるまちづくりを推進してきた。

- ・健康寿命の延伸

男性 69.0 歳 女性 72.7 歳 (H22) → 男性 71.6 歳 女性 74.3 歳 (H28)

○ 平成 30 年には SDG s の達成に向けた優れた取組を提案したことによる「SDG s 未来都市」に選定された。

○ 防災・減災対策については、平成 30 年 7 月豪雨による教訓を生かし、自主防災組織の結成促進により組織率を大幅に向上した。

- ・自主防災組織率 61.0% (H26) → 92.2% (R2.3.31)

3. 第 2 期総合戦略の基本的な考え方

(1) 岡山市人口の将来見通し

我が国の総人口は、2008 年の約 1 億 2,800 万人をピークに減少局面に入り、2060 年には 9,284 万人となると見込まれている。また、出生数・出生率の低迷により、親となりうる世代の人口が減少している一方、総人口に占める高齢者世代の割合が増加しており、2060 年には 38% を超える水準まで高まると推計されている。このように生産年齢人口の減少と高齢人口の増加が進むとともに、東京一極集中の傾向は変わらず、特に若い世代の東京への転入超過者数が増加している。

このように、我が国の人口が、今後大きく減少することが見込まれるなか、岡山市の人口ビジョンにおいては、2060 年の将来人口推計について、更新したところである。

岡山市の人口は、現状で推移すれば、2060 年には 64 万人程度となる見込みであるが、国が想定する出生率が達成された場合、2035 年 73 万 2 千人程度をピークに人口減少期に入り、2060 年には 72 万 1 千人程度となる見込み(岡山市将来展望推計人口)である。

(2) 第 2 期総合戦略の基本的な考え方

「人口ビジョン」で示した岡山市将来展望推計人口を展望しつつ、地方創生の取組を体系的かつ戦略的に推進することにより、人口減少傾向を和らげ、将来人口推計の引上げを図ることが必要であるという第 1 期総合戦略の基本的な考え方は維持しつつ、新型コロナウイルス感染症に伴う新たな課題に対応する視点を追加した上で策定する。

特に、同感染症から市民の生命や健康を守るためには、基本的な感染対策に加えて保健所体制の強化等が必要となるほか、同感染症の影響により幅広い業種で売上が減少するなど、地域経済に深刻な影響が生じていることを踏まえ、経済活動や市民生活を引き続き支援していく必要がある。

また、同感染症の影響下でテレワークをはじめとする多様な働き方が広がりつつあるほか、人口密度が高い東京圏に集住して日常生活を行うことのリスクが改めて認識されるなど、価値観の多様化も見られるところであり、このような変化に対応しつつ地方創生の実現に向けた取組を進めていく。

(項目追加)

生活できるまちづくりを推進してきた。

- ・健康寿命の延伸

男性 69.0 歳 女性 72.7 歳 (H22) → 男性 71.7 歳 女性 74.4 歳 (H28)

○ 平成 30 年には SDG s の達成に向けた優れた取組を提案したことによる「SDG s 未来都市」に選定された。

○ 防災・減災対策については、平成 30 年 7 月豪雨による教訓を生かし、自主防災組織の結成促進により組織率を大幅に向上した。

- ・自主防災組織率 61.0% (H26) → 92.2% (R2.3.31)

3. 第 2 期総合戦略の基本的な考え方

(1) 岡山市人口の将来見通し

我が国の総人口は、2008 年の約 1 億 2,800 万人をピークに減少局面に入り、2060 年には 9,284 万人となると見込まれている。また、出生数・出生率の低迷により、親となりうる世代の人口が減少している一方、総人口に占める高齢者世代の割合が増加しており、2060 年には 38% を超える水準まで高まると推計されている。このように生産年齢人口の減少と高齢人口の増加が進むとともに、東京一極集中の傾向は変わらず、特に若い世代の東京への転入超過者数が増加している。

このように、我が国の人口が、今後大きく減少することが見込まれるなか、岡山市の人口ビジョンにおいては、2060 年の将来人口推計について、更新したところである。

岡山市の人口は、現状で推移すれば、2060 年には 64 万人程度となる見込みであるが、国が想定する出生率が達成された場合、2035 年 73 万 2 千人程度をピークに人口減少期に入り、2060 年には 72 万 1 千人程度となる見込み(岡山市将来展望推計人口)である。

(2) 第 2 期総合戦略の基本的な考え方

「人口ビジョン」で示した岡山市将来展望推計人口を展望しつつ、地方創生の取組を体系的かつ戦略的に推進することにより、人口減少傾向を和らげ、将来人口推計の引上げを図ることが必要であるという第 1 期総合戦略の基本的な考え方は維持しつつ、新型コロナウイルス感染症に伴う新たな課題に対応する視点を追加した上で策定する。

特に、同感染症から市民の生命や健康を守るためには、基本的な感染対策に加えて保健所体制の強化等が必要となるほか、同感染症の影響により幅広い業種で売上が減少するなど、地域経済に深刻な影響が生じていることを踏まえ、経済活動や市民生活を引き続き支援していく必要がある。

また、同感染症の影響下でテレワークをはじめとする多様な働き方が広がりつつあるほか、人口密度が高い東京圏に集住して日常生活を行うことのリスクが改めて認識されるなど、価値観の多様化も見られるところであり、このような変化に対応しつつ地方創生の実現に向けた取組を進めていく。

(3) 第 2 期総合戦略改訂(令和〇年〇月)の考え方

新型コロナウイルス感染症の影響により、デジタル・オンラインの活用が進み、社会情勢がこれまでとは大きく変化していることから、デジタルの力によって地方創生の取組をより加速化・深化

基本目標 1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する

- 少子高齢化の中で円滑な事業承継を支援するとともに、スタートアップ支援拠点事業をはじめとして、さらなる創業支援を図る。
- 本社機能を有するサテライトオフィス等も含めた企業立地促進に取り組み、IT・デジタルコンテンツ産業の誘致、ICT人材の育成支援など、戦略的な産業振興を推進する。
- 新型コロナウイルス感染症により縮小した経済の回復、先行き不透明な中での景気低迷の長期化への備え、働き方・業態・生活様式の変化に対応した産業の支援を図る。

基本目標 2 岡山市への新しいひとの流れをつくる

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人口密度が高い東京圏に集住するリスクの再認識やテレワークなどの働き方の変化によって地方移住への関心が高まっていることを踏まえ、移住・定住施策の再構築を図る。

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 引き続き、待機児童の解消に取り組むとともに、困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援を行い、安心して出産・子育てができる環境づくりを進める。

基本目標 4 安全・安心に暮らせるまちづくり、地域と地域を連携する

- コンパクトでネットワーク化されたまちづくりに取り組むとともに、東京一極集中からの転換に向けて、中四国のゲートウェイにふさわしい都市機能の充実を図る。
- 周辺地域においては、交通手段や生活サービスを確保するとともに、移住・定住による地域活性化や地域の歴史文化資源の継承等を地域振興基金も活用しながら促進する。
- 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防やまん延防止に必要な対策を、適切かつ迅速に進める。

II 目指す方向と具体的施策

基本目標 1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する

【数値目標】

- 企業立地・再投資件数【累計】(件)
60 (H28～R1) → 116 (H28～R7)
- 市内企業における管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合(%)
7.7 (H30) → 14.0 (R6)

基本的方向



させ、DXによる「住みやすく躍動感のある」まちづくりを推進していく。

なお、この改訂に際し、第2期総合戦略に副題「～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」を付す。

基本目標 1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する

- 少子高齢化の中で円滑な事業承継を支援するとともに、スタートアップ支援拠点事業をはじめとして、さらなる創業支援を図る。
- 本社機能を有するサテライトオフィス等も含めた企業立地促進に取り組み、IT・デジタルコンテンツ産業の誘致、ICT人材の育成支援など、戦略的な産業振興を推進する。
- 新型コロナウイルス感染症により縮小した経済の回復、先行き不透明な中での景気低迷の長期化への備え、働き方・業態・生活様式の変化に対応した産業の支援を図る。

基本目標 2 岡山市への新しいひとの流れをつくる

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人口密度が高い東京圏に集住するリスクの再認識や、デジタル技術を活用したテレワークなどの働き方の変化によって地方移住の形態が多様化していることを踏まえ、移住・定住施策の再構築を図る。

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 引き続き、待機児童の解消に取り組むとともに、困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援を行い、安心して出産・子育てができる環境づくりを進める。

基本目標 4 安全・安心に暮らせるまちづくり、地域と地域を連携する

- コンパクトでネットワーク化されたまちづくりに取り組むとともに、東京一極集中からの転換に向けて、中四国のゲートウェイにふさわしい都市機能の充実を図る。
- 周辺地域においては、交通手段や生活サービスを確保するとともに、移住・定住による地域活性化や地域の歴史文化資源の継承等を地域振興基金も活用しながら促進する。
- 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防やまん延防止に必要な対策を、適切かつ迅速に進める。

II 目指す方向と具体的施策

基本目標 1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する

【数値目標】

- 企業立地・再投資件数【累計】(件)
60 (H28～R1) → 116 (H28～R7)
- 市内企業における管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合(%)
7.7 (H30) → 15.0 (R7)

基本的方向



(1)新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興

地場産業の育成・強化及び地域資源を活かした戦略的な産業の創出・育成を図るとともに、中四国のゲートウェイとしての優れた広域拠点性や、災害リスクの低さ等を活かし、継続的に企業立地を進める。また、岡山市がもつ医療・介護資源の蓄積をいかし、ヘルスケア関連分野を中心に付加価値の高い産業の創出・育成を図るとともに、起業家等が活動しやすい環境を整え、創業や安定した事業継続を促す。

新型コロナウイルス感染症により縮小した経済の回復、先行き不透明な中での景気低迷の長期化への備え、働き方・業態・生活様式の変化に対応した産業の支援を図る。また、リスク分散等の観点から、企業の地方への機能分散等の企業動向の変化を注視していく。

(2)歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進

新型コロナウイルス感染症の流行による国内外の観光客の落ち込みや、新しい生活様式の実践による観光需要の変化に対応し、岡山市固有の観光資源に磨きをかけるとともに、近隣自治体との連携による魅力的な観光ルートの創出や情報発信力の強化を図り、圏域全体の経済効果の創出を目指す。また、岡山固有の歴史・文化に由来し、都市イメージとして広く浸透している「桃太郎」を積極的に活用することにより、岡山市の認知度や好感度の向上を図り、観光誘客につなげていくためのプロモーションを展開していく。

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ外国人観光客誘致については、各国の観光市場の動向を的確に把握・分析し、プロモーションや受入体制の充実・強化を進めていく。

(3)活力ある農業の振興

農業の担い手不足や高齢化が進んでいる中、農業を持続的に発展させるため、担い手の確保・育成、農地の集積・集約による経営の効率化、6次産業化等による高付加価値化等を推進する。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、移動制限やイベントの中止・規模縮小等で外食需要が減少し、感染予防の観点から、人々の生活様式に変化が生まれ、食を取り巻く環境も大きく変化している。これらの変化が農林水産物の生産・流通に与える影響を引き続き注視しながら、必要な支援を図っていく。

(4)地域の活力を担う人材の育成・確保

高齢者・女性・障害者・外国人など、多様な人材がその能力を発揮し、活躍できる環境を整備することで、地域の活力を生み出す。

(1)新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興

地場産業の育成・強化及び地域資源を活かした戦略的な産業の創出・育成を図るとともに、中四国のゲートウェイとしての優れた広域拠点性や、災害リスクの低さ等を活かし、継続的に企業立地を進める。

また、岡山市がもつ医療・介護資源の蓄積をいかし、ヘルスケア関連分野を中心に付加価値の高い産業の創出・育成を図るとともに、起業家等が活動しやすい環境を整え、創業や安定した事業継続を促す。

さらに、スタートアップの事業成長を促進し、地域発のイノベーションの創出に取り組むとともに、IoT・AI等のデジタル技術を活用する地域の企業を後押しし、労働生産性の向上や競争力の強化を目指す。

新型コロナウイルス感染症により縮小した経済の回復、先行き不透明な中での景気低迷の長期化への備え、働き方・業態・生活様式の変化に対応した産業の支援を図る。また、リスク分散等の観点から、企業の地方への機能分散等の企業動向の変化を注視していく。

(2)歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進

新型コロナウイルス感染症の流行による国内外の観光客の落ち込みや、新しい生活様式の実践による観光需要の変化に対応し、岡山市固有の観光資源に磨きをかけるとともに、近隣自治体との連携による魅力的な観光ルートの創出や情報発信力の強化を図り、圏域全体の経済効果の創出を目指す。

また、デジタル技術とマーケティング手法を活用し、観光資源の魅力アップや観光客の周遊促進を図るとともに、快適な観光を推進し、観光客の満足度向上につなげていくほか、岡山固有の歴史・文化に由来し、都市イメージとして広く浸透している「桃太郎」を積極的に活用することにより、岡山市の認知度や好感度の向上を図り、観光誘客につなげていくためのプロモーションを展開していく。

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ外国人観光客誘致については、各国の観光市場の動向を的確に把握・分析し、プロモーションや受入体制の充実・強化を進めていく。

(3)活力ある農業の振興

農業の担い手不足や高齢化が進んでいる中、農業を持続的に発展させるため、機械化、省力化による安定的で高品質な生産体制づくりを進めることで、担い手の確保・育成、農地の集積・集約による経営の効率化、6次産業化等による高付加価値化等を推進する。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、移動制限やイベントの中止・規模縮小等で外食需要が減少し、感染予防の観点から、人々の生活様式に変化が生まれ、食を取り巻く環境も大きく変化している。これらの変化が農林水産物の生産・流通に与える影響を引き続き注視しながら、必要な支援を図っていく。

(4)地域の活力を担う人材の育成・確保

高齢者・女性・障害者・外国人など、多様な人材がその能力を発揮し、活躍できる環境を整備することで、地域の活力を生み出す。

また、コミュニケーション力や情報活用能力といった、これからの社会に必要な力を系統的に育成する。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

(1) 新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興

① 地場産業の育成・強化

中小企業・小規模企業の経営力を向上させ、環境の変化を乗り越えていくための支援や、起業家やベンチャー企業が活動しやすい環境整備を進める。

また、中小企業等の貴重な経営資源や、雇用・技術を引き継ぐため、円滑な事業承継を支援するとともに、「新しい生活様式」に対応する業態転換やテレワークなど、事業者の新たな取組を支援する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
市の創業支援による創業者数(者)	22 (H30)	50

(具体的な事業)

事業名	内容
ものづくり産業振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の研究・試作開発費に対する補助 ・県外見本市等に出展する際の小間料等に対する補助 ・<u>I o T ・ A I 等の先端技術の導入に対する補助</u> ・広域商談会の開催や大規模展示会等への出展
海外展開支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外市場への販路拡大の支援 ・市内企業の海外展開に要する経費への補助
ものづくり産官学連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大インキュベータの入居者に対する賃料の補助
中小企業活性化事業・創業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種経営セミナーや人材育成研修の開催 ・設備投資や事業承継に対する補助 ・<u>おかやまスタートアップ支援拠点事業</u> ・創業に要する経費への補助
中小企業の経営安定化事業(融資制度資金貸付、経営診断)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の事業資金の調達支援や経営相談の実施 ・事業承継時に必要な資金及び承継後の運転資金、設備資金の調達支援
雇用対策等事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援

また、I C T を効果的に活用した学びを通して、コミュニケーション力や情報活用能力といった、これからの社会に必要な力を系統的に身に付け、課題の解決に役立てることができる人材を育成する。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

(1) 新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興

① 地場産業の育成・強化

中小企業・小規模企業の経営力を向上させ、環境の変化を乗り越えていくための支援や、起業家やベンチャー企業が活動しやすい環境整備を進めるほか、イノベーション創出の源泉となるスタートアップの事業成長を促進し、イノベーション創出の加速化を図る。

また、中小企業等の貴重な経営資源や、雇用・技術を引き継ぐため、円滑な事業承継を支援するとともに、「新しい生活様式」に対応する業態転換やテレワークなど、事業者の新たな取組を支援する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
市の創業支援による創業者数(者)	22 (H30)	50

(具体的な事業)

事業名	内容
ものづくり産業振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の研究・試作開発費に対する補助 ・県外見本市等に出展する際の小間料等に対する補助 ・<u>中小企業デジタル化推進事業</u> ・広域商談会の開催や大規模展示会等への出展
海外展開支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外市場への販路拡大の支援 ・市内企業の海外展開に要する経費への補助
ものづくり産官学連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大インキュベータの入居者に対する賃料の補助
中小企業活性化事業・創業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種経営セミナーや人材育成研修の開催 ・設備投資や事業承継に対する補助 ・<u>スタートアップ支援事業</u> ・創業に要する経費への補助
中小企業の経営安定化事業(融資制度資金貸付、経営診断)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の事業資金の調達支援や経営相談の実施 ・事業承継時に必要な資金及び承継後の運転資金、設備資金の調達支援
雇用対策等事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援

・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援

②地域資源を活かした戦略的な産業の創出・育成

豊富な医療・介護資源等の強みや特性をいかし、産学官金の幅広い交流・連携を通じて、市民の健康な生活をサポートする付加価値の高いヘルスケア関連産業等、新産業の創出・育成を図る。

(具体的な事業)

事業名	内容
新産業創出・育成事業	・新たな製品・サービスの開発及び事業化を目的とした異業種連携の促進

③拠点性を活かした企業と人の集積

市内外の人材の移住・定住につながる魅力ある雇用の創出を図るため、幅広い業種の企業の立地を推進するとともに、U I J ターン希望者等への企業情報の効果的な発信の支援や、企業説明会の機会を充実することにより、雇用のマッチングを図る。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R 1)	最終目標値(R 7)
企業立地・再投資件数【累計】【再掲】(件)	60 (H28～R 1)	116 (H28～R 7)

(具体的な事業)

事業名	内容
企業立地推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工場等の立地企業に対する補助 ・再投資・拠点強化を行う市内既存工場等に対する補助 ・物流施設の立地企業に対する補助 ・本社、本社機能、中四国支店等広域的拠点の立地企業に対する補助 ・I T・デジタルコンテンツ産業等の立地企業に対する補助
雇用対策等事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援 ・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援

(2)歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進

①観光の振興と情報発信力の強化

岡山市固有の観光資源に磨きをかけるとともに、近隣自治体との連携による魅力的な観光ルートの開発や情報発信等により、地域全体での魅力向上を図る。

また、岡山城や日本遺産をはじめとする歴史・文化資源や豊富な農作物等の岡山市固有の観光資源の魅力高めつつ、観光客の利便性向上や快適な環境整備を行うとともに、観光体験メニューや

・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援

②地域資源を活かした戦略的な産業の創出・育成

豊富な医療・介護資源等の強みや特性をいかし、産学官金の幅広い交流・連携を通じて、市民の健康な生活をサポートする付加価値の高いヘルスケア関連産業等、新産業の創出・育成を図る。

(具体的な事業)

事業名	内容
新産業創出・育成事業	・新たな製品・サービスの開発及び事業化を目的とした異業種連携の促進

③拠点性を活かした企業と人の集積

市内外の人材の移住・定住につながる魅力ある雇用の創出を図るため、幅広い業種の企業の立地を推進するとともに、U I J ターン希望者等への企業情報の効果的な発信の支援や、企業説明会の機会を充実することにより、雇用のマッチングを図る。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R 1)	最終目標値 (R 7)
企業立地・再投資件数【累計】【再掲】(件)	60 (H28～R 1)	116 (H28～R 7)

(具体的な事業)

事業名	内容
企業立地推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工場等の立地企業に対する補助 ・再投資・拠点強化を行う市内既存工場等に対する補助 ・物流施設の立地企業に対する補助 ・本社、本社機能、中四国支店等広域的拠点の立地企業に対する補助 ・I T・デジタルコンテンツ産業等の立地企業に対する補助
雇用対策等事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援 ・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援

(2)歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進

①観光の振興と情報発信力の強化

岡山市固有の観光資源に磨きをかけるとともに、近隣自治体との連携による魅力的な観光ルートの開発や情報発信等により、地域全体での魅力向上を図る。

また、デジタル技術とマーケティング手法を活用し、岡山城や日本遺産をはじめとする歴史・文化資源や豊富な農作物等の岡山市固有の観光資源の魅力高めつつ、観光客の利便性向上や快適な

食の開発、観光ガイド等によるおもてなし機運の醸成等により、宿泊地としての魅力向上と新たな観光客やリピート客の獲得を図る。

さらに、岡山市の強みである歴史・文化資産を掘り起こして、新たな観光資源として磨き上げ、魅力を高める。

豊かな自然を擁する市北部中山間地に所在する体験施設や公園等の魅力を高め観光レクリエーションの拠点とするなど、周辺地域の活性化を図る。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
観光客数(千人) ※	7,575	9,487

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
おかやま観光情報発信事業 (シティプロモーション)	・「桃太郎」をテーマとした情報発信や観光誘客イベントの開催 ・観光素材の創出による観光客が楽しむことができる観光地づくりの推進
観光施設の活用事業	・岡山城天守閣の展示リニューアル等の大規模改修
観光資源の魅力アップ事業	・岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園との同時開催等 ・他都市との連携を通じた吉備路をはじめとする広域周遊観光の促進 ・瀬戸内海沿岸の他都市等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進 ・日本遺産をはじめとする歴史・文化資産を活用した情報発信、受入体制の整備等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上 ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民踊の普及促進
岡山まつり開催事業	・おかやま桃太郎まつり、西大寺会陽などの魅力の発信

②外国人観光客誘客と受け入れ体制の整備

東アジアや欧米に加え、近年観光客が増加している東南アジア等からの外国人観光客の受入体制を整備し、情報発信を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年日本国際博覧会等の大規模国際イベントの機会を活用することにより、インバウンドを推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
観光客数【再掲】(千人) ※	7,575	9,487

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

環境整備を行うとともに、観光体験メニューや食の開発、観光ガイド等によるおもてなし機運の醸成等により、宿泊地としての魅力向上と新たな観光客やリピート客の獲得を図る。

さらに、岡山市の強みである歴史・文化資産を掘り起こして、新たな観光資源として磨き上げ、魅力を高める。

豊かな自然を擁する市北部中山間地に所在する体験施設や公園等の魅力を高め観光レクリエーションの拠点とするなど、周辺地域の活性化を図る。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
観光客数(千人) ※	7,575	9,487

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
おかやま観光情報発信事業 (シティプロモーション)	・「桃太郎」をテーマとした情報発信や観光誘客イベントの開催 ・観光素材の創出による観光客が楽しむことができる観光地づくりの推進
観光施設の活用事業	・岡山城天守閣のデジタルコンテンツを含む展示リニューアル等の大規模改修
観光資源の魅力アップ事業	・岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園との同時開催等 ・他都市との連携を通じた吉備路をはじめとする広域周遊観光の促進 ・瀬戸内海沿岸の他都市等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進 ・日本遺産をはじめとする歴史・文化資産を活用した情報発信、受入体制の整備等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上 ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民踊の普及促進
岡山まつり開催事業	・おかやま桃太郎まつり、西大寺会陽などの魅力の発信

②外国人観光客誘客と受け入れ体制の整備

東アジアや欧米に加え、近年観光客が増加している東南アジア等からの外国人観光客の受入体制を整備し、情報発信を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年日本国際博覧会等の大規模国際イベントの機会を活用することにより、インバウンドを推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
観光客数【再掲】(千人) ※	7,575	9,487

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
おかやま観光情報発信事業 (インバウンド推進)	<ul style="list-style-type: none"> 台湾、中国、韓国などの東アジアやフランスをはじめとした欧米、東南アジアなど、ターゲットを絞ったプロモーションの実施 真庭市、吉備中央町との共同によるムスリム観光客の受入体制の整備 外国人団体旅行者への宿泊費の助成

③コンベンション誘致の推進

岡山市、おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンターに加えて、連携・協力協定を締結した岡山大学や岡山商工会議所等の産官学が連携し、誘致・開催体制をさらに強化するとともに、多様な開催形態への対応を強みとして、様々なコンベンション主催者へ機を逃さず情報提供することにより、地元でのコンベンション開催を促進する。

また、「ESDに関するユネスコ世界会議」や「G20岡山保健大臣会合」開催の経験をいかし、受入体制の充実・強化を進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
コンベンション参加者数(人) ※	162,348	207,000

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
コンベンション誘致対策事業	<ul style="list-style-type: none"> コンベンション開催補助金の交付や各種コンベンション開催支援 情報収集、セミナーの開催、多様なコンベンション主催者へのセールス等の誘致活動

(3)活力ある農業の振興

岡山市就農サポートセンターの活用を促進するほか、就農相談会等による新規就農相談、就農への不安解消等を目的とした短期体験、関係機関と連携した実践的な農業技術や経営知識習得のための研修実施等、就農希望者の状況に応じて支援することで、県内外からの新規就農者の増加を図る。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
新規就農者数(人)	34	50

(具体的な事業)

事業名	内容
-----	----

(具体的な事業)

事業名	内容
おかやま観光情報発信事業 (インバウンド推進)	<ul style="list-style-type: none"> 台湾、中国、韓国などの東アジアやフランスをはじめとした欧米、東南アジアなど、ターゲットを絞ったプロモーションの実施 真庭市、吉備中央町との共同によるムスリム観光客の受入体制の整備 外国人団体旅行者への宿泊費の助成

③コンベンション誘致の推進

岡山市、おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンターに加えて、連携・協力協定を締結した岡山大学や岡山商工会議所等の産官学が連携し、誘致・開催体制をさらに強化するとともに、多様な開催形態への対応を強みとして、様々なコンベンション主催者へ機を逃さず情報提供することにより、地元でのコンベンション開催を促進する。

また、「ESDに関するユネスコ世界会議」や「G20岡山保健大臣会合」開催の経験をいかし、受入体制の充実・強化を進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
コンベンション参加者数(人) ※	162,348	207,000

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
コンベンション誘致対策事業	<ul style="list-style-type: none"> コンベンション開催補助金の交付や各種コンベンション開催支援 情報収集、セミナーの開催、多様なコンベンション主催者へのセールス等の誘致活動

(3)活力ある農業の振興

岡山市就農サポートセンターの活用を促進するほか、就農相談会等による新規就農相談、就農への不安解消等を目的とした短期体験、関係機関と連携した実践的な農業技術や経営知識習得のための研修実施等、就農希望者の状況に応じて支援することで、県内外からの新規就農者の増加を図る。

また、スマート農業の取組を推進し、機械化、省力化による安定的で高品質な生産体制づくりを進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
新規就農者数(人)	34	50

(具体的な事業)

事業名	内容
-----	----

農業の担い手の確保・育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 ・新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金交付 ・<u>U I J ターン園芸農業者への支援</u>
<u>(項目追加)</u>	

(4)地域の活力を担う人材の育成・確保

①多様な人材が活躍できる環境づくり

高齢になっても生涯現役で活躍し続けられるよう、就労や社会参加に向けた支援を行うとともに、雇用先の企業等に対しても、高齢者等の雇用を積極的に行うよう意識改革や労働条件の見直し等を働きかける。

また、働く女性のためのキャリアアップ支援や、結婚や出産等のライフステージの変化の中にあっても、働きつづけられるよう企業に働きかけるとともに、離職した女性の就労を支援する。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値(R7)
生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数 <u>【再掲】</u> (人)	26	750 (R3~R7)

(具体的な事業)

事業名	内容
<u>SIBを活用した生涯活躍就労支援事業【再掲】</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等のニーズに合った就労や社会参加のマッチング支援 ・企業等の高齢者雇用に対する理解の促進
女性が輝くまちづくり推進事業 <u>【再掲】</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進に向けた講演会やセミナーの開催 ・企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等の実施 ・女性活躍及び仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証 ・離職した女性のスキルアップや再就職支援、女性社員のキャリア形成の支援 ・学生のためのキャリア形成応援事業の実施

②ICT人材の育成

G I G Aスクール構想も踏まえたICT環境の整備を進め、多様な学びの機会を保障し、質の高い教育を目指す。

また、ICTを活用した教育等の充実を図る中で、デジタル教科書等を活用した授業づくりを進め、情報化社会に対応できるコミュニケーション力や情報活用能力の育成を目指す。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値(R7)
---------------	----------	-----------

農業の担い手の確保・育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 ・<u>U I J ターンを含む</u>新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金交付
<u>スマート農業推進モデル事業</u>	・ <u>ハウス内環境のモニタリングと環境制御のデジタル化による、省力化・高品質化を実現</u>

(4)地域の活力を担う人材の育成・確保

①多様な人材が活躍できる環境づくり

高齢になっても生涯現役で活躍し続けられるよう、就労や社会参加に向けた支援を行うとともに、雇用先の企業等に対しても、高齢者等の雇用を積極的に行うよう意識改革や労働条件の見直し等を働きかける。

また、働く女性のためのキャリアアップ支援や、結婚や出産等のライフステージの変化の中にあっても、働きつづけられるよう企業に働きかけるとともに、離職した女性の就労を支援する。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数 (人)	26	750 (R3~R7)

(具体的な事業)

事業名	内容
<u>生涯活躍就労支援事業</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等のニーズに合った就労や社会参加のマッチング支援 ・企業等の高齢者雇用に対する理解の促進
女性が輝くまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進に向けた講演会やセミナーの開催 ・企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等の実施 ・女性活躍及び仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証 ・離職した女性のスキルアップや再就職支援、女性社員のキャリア形成の支援 ・学生のためのキャリア形成応援事業の実施

②ICT人材の育成

G I G Aスクール構想も踏まえたICT環境の整備を進め、多様な学びの機会を保障し、質の高い教育を目指す。

また、ICTを活用した教育等の充実を図る中で、デジタル教科書等を活用した授業づくりを進め、情報化社会に対応できるコミュニケーション力や情報活用能力の育成を目指す。

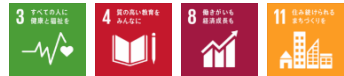
重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
---------------	----------	------------

授業でコンピュータなどのICTを毎日使用する子どもの割合(%)	小学校 5.6 中学校 3.8	小学校 100 中学校 100
---------------------------------	--------------------	--------------------

(具体的な事業)

事業名	内容
情報活用能力向上事業	・指導方法の研究と研修会等での好事例の紹介 ・中学校区ごとに情報活用能力育成カリキュラムを作成
ICT活用指導力向上事業	・ICTを活用して指導する力の向上のための研修の充実 ・授業における効果的なICTの活用事例の作成、配付
ICT環境整備事業	・GIGAスクール構想実現に向けた校内ネットワーク等の整備

基本目標2 岡山市への新しいひとの流れをつくる



【数値目標】

- 移住定住支援により移住した人数(人)
30 (R1) → 90 (R7)

基本的方向

(1)移住・定住の促進

温暖な気候や自然災害の少なさを背景に転入超過の状態を保っていたが、近年転出超過となっている。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による人々の意識や価値観、働き方の変化が見られており、こうした社会環境の変化にも対応していくことを踏まえ、岡山市の魅力が十分に伝わる情報発信の強化など、効果的な移住・定住支援施策の再構築を進めていくとともに、若者の岡山への定着を進めるための施策に積極的に取り組む。

(2)新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」推進

生涯にわたり健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民等の身近に健康がある環境の整備に努めるとともに、高齢者等の就労や社会参加に向けた支援を行い、生涯現役で活躍し続けられる取組を進める。

(3)地元大学等との連携

中小企業等では人手不足を背景に新規学卒予定者の採用意欲については前向きな状況が続いているが、多くの中小企業等は情報発信力が弱く、自社の魅力を十分に伝えられていない状況にあるため、中小企業等の若手人材確保を支援し、企業活動の活性化を促進する。

(4)地方とのつながりの構築

授業でコンピュータなどのICTを毎日使用する子どもの割合(%)	小学校 5.6 中学校 3.8	小学校 100 中学校 100
---------------------------------	--------------------	--------------------

(具体的な事業)

事業名	内容
情報活用能力向上事業	・指導方法の研究と研修会等での好事例の紹介 ・中学校区ごとに情報活用能力育成カリキュラムを作成
ICT活用指導力向上事業	・ICTを活用して指導する力の向上のための研修の充実 ・授業における効果的なICTの活用事例の作成、配付
ICT環境整備事業	・GIGAスクール構想実現に向けた校内ネットワーク等の整備

基本目標2 岡山市への新しいひとの流れをつくる



【数値目標】

- 移住定住支援により移住した人数(人)
30 (R1) → 90 (R7)

基本的方向

(1)移住・定住の促進

温暖な気候や自然災害の少なさを背景に転入超過の状態を保っていたが、近年転出超過となっている。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による人々の意識や価値観、働き方の変化が見られており、こうした社会環境の変化にも対応していくことを踏まえ、デジタル技術等を活用するなどしながら、岡山市の魅力が十分に伝わる情報発信の強化など、効果的な移住・定住支援施策の再構築を進めていくとともに、若者の岡山への定着を進めるための施策に積極的に取り組む。

(2)新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」推進

生涯にわたり健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民等の身近に健康がある環境の整備に努めるとともに、高齢者等の就労や社会参加に向けた支援を行い、生涯現役で活躍し続けられる取組を進める。

(3)地元大学等との連携

中小企業等では人手不足を背景に新規学卒予定者の採用意欲については前向きな状況が続いているが、多くの中小企業等は情報発信力が弱く、自社の魅力を十分に伝えられていない状況にあるため、中小企業等の若手人材確保を支援し、企業活動の活性化を促進する。

(4)地方とのつながりの構築

将来的な移住者につながることを期待される関係人口の創出・拡大に取り組む。

デジタル技術等を活用するなどして、将来的な移住者につながることを期待される関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、岡山市への人材や資金の流れの拡大を図る。

具体的な施策と重要業績指標(K P I)

具体的な施策と重要業績指標(K P I)

(1)移住・定住の促進

(1)移住・定住の促進

①相談体制や移住・定住への支援等

①相談体制や移住・定住への支援等

移住支援専用ウェブサイトの充実などにより、移住先としての岡山市の魅力や特色を情報発信するとともに、移住希望者の住まい・就職・就農等の多岐にわたるニーズに沿ったきめ細かな情報を提供し、U I J ターンを促進する。

移住支援専用ウェブサイトの充実などにより、移住先としての岡山市の魅力や特色を情報発信するとともに、移住希望者の住まい・就職・就農等の多岐にわたるニーズに沿ったきめ細かな情報を提供し、U I J ターンを促進する。

また、民間の移住者支援団体や就職・転職支援業界、不動産業界等で構成する「岡山市移住・定住支援協議会」と連携し、移住相談・支援、移住後の支援体制を充実させ、岡山県や岡山連携中枢都市圏の市町等と協力し、移住相談会やセミナー等を共同で開催することにより、圏域への移住・定住を促進する。

また、民間の移住者支援団体や就職・転職支援業界、不動産業界等で構成する「岡山市移住・定住支援協議会」と連携し、移住相談・支援、移住後の支援体制を充実させ、岡山県や岡山連携中枢都市圏の市町等と協力し、移住相談会やセミナー等を共同で開催することにより、圏域への移住・定住を促進する。

若者の岡山への定着を進めるため、まちづくりへの参加や地域とつながる仕組みづくりを構築するとともに、市内企業等の情報提供を実施する。

若者やデジタル人材等、多様な人材の岡山への定着を進めるため、デジタルの発想で地域コミュニティの新たなつながりを創出し、多様な担い手が地域づくりに参画できる仕組みを構築するとともに、市内企業等の情報提供を実施する。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R 1)	最終目標値(R 7)
移住定住支援により移住した人数【再掲】(人)	30	90

重要業績指標(K P I)	基準値 (R 1)	最終目標値 (R 7)
移住定住支援により移住した人数【再掲】(人)	30	90

(具体的な事業)

(具体的な事業)

事業名	内容
移住定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・移住支援専用ウェブサイトやFacebook等を活用した情報発信 ・お試し住宅利用者に対する家賃補助及び空き家情報バンク登録物件の情報提供 ・おかやまU I J ターン就職支援センターの開設運営及び就職・転職活動に対する交通費補助 ・テレワーカーの移住への支援 ・岡山県や岡山連携中枢都市圏等との移住相談会やセミナーの共同開催 ・オンライン移住相談の実施
学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援
農業の担い手の確保・育成事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 ・新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金交付 ・<u>U I J ターン園芸農業者への支援</u>

事業名	内容
移住定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・移住支援専用ウェブサイトやFacebook等を活用した情報発信 ・お試し住宅利用者に対する家賃補助及び空き家情報バンク登録物件の情報提供 ・おかやまU I J ターン就職支援センターの開設運営及び就職・転職活動に対する交通費補助 ・テレワーカーの移住への支援 ・岡山県や岡山連携中枢都市圏等との移住相談会やセミナーの共同開催 ・オンライン移住相談の実施
学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援
農業の担い手の確保・育成事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 ・<u>U I J ターンを含む</u>新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金交付

雇用対策等事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援 ・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援
-------------	--

②政府関係機関の誘致促進

東京一極集中を是正するため、平成 28 年 3 月に政府関係機関移転基本方針が決定されたところであるが、今後も引き続き国の動向を注視し、必要な対応を図っていく。

(2)新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の推進

「健康ポイント事業」など、市民や企業の健康づくりを促進する事業を進めるとともに、健康的なサービスを提供する企業や店舗の拡大を図り、市民等の身近に健康がある環境の整備を進める。

また、生涯現役で活躍できるよう、高齢者等に対して就労や社会参加に向けた支援を行うとともに、雇用先の企業等に対しても、高齢者等の雇用を積極的に行うよう意識改革や労働条件の見直し等を進める。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値(R7)
生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数【再掲】(人)	26	750 (R3~R7)

(具体的な事業)

事業名	内容
S I B を活用した健康ポイント事業【再掲】	・企業と連携し、インセンティブ付与を活用した健康的な生活習慣等の促進
S I B を活用した生涯活躍就労支援事業【再掲】	・高齢者等のニーズに合った就労や社会参加のマッチング支援 ・企業等の高齢者雇用に対する理解の促進
A I を活用した健康見える化事業【再掲】	・A I を活用した将来疾病リスクの見える化の実施

(3)地元大学等との連携

岡山市の産業発展のためには企業の求める人材確保は重要であり、市内に多く立地する大学等や企業と連携し、大学等を卒業する学生が市内企業で活躍できるよう、企業とのマッチングに取り組む。

学生などの活力を活かして地域の様々な課題の解決やスタートアップのチャレンジ等の取組の促進が図られるよう、地元の大学等との連携を積極的に推し進める。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値(R7)
若者(20歳代)の地域活動への参加割合(%)	20.1	25.1

雇用対策等事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援 ・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援
-------------	--

②政府関係機関の誘致促進

東京一極集中を是正するため、平成 28 年 3 月に政府関係機関移転基本方針が決定されたところであるが、今後も引き続き国の動向を注視し、必要な対応を図っていく。

(2)新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の推進

「健康ポイント事業」など、市民や企業の健康づくりを促進する事業を進めるとともに、健康的なサービスを提供する企業や店舗の拡大を図り、市民等の身近に健康がある環境の整備を進める。

また、生涯現役で活躍できるよう、高齢者等に対して就労や社会参加に向けた支援を行うとともに、雇用先の企業等に対しても、高齢者等の雇用を積極的に行うよう意識改革や労働条件の見直し等を進める。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数【再掲】(人)	26	750 (R3~R7)

(具体的な事業)

事業名	内容
アプリ を活用した健康的な生活習慣推進事業	・企業と連携し、インセンティブ付与を活用した健康的な生活習慣等の促進
生涯活躍就労支援事業【再掲】	・高齢者等のニーズに合った就労や社会参加のマッチング支援 ・企業等の高齢者雇用に対する理解の促進
A I を活用した健康見える化事業	・A I を活用した将来疾病リスクの見える化の実施

(3)地元大学等との連携

岡山市の産業発展のためには企業の求める人材確保は重要であり、市内に多く立地する大学等や企業と連携し、大学等を卒業する学生が市内企業で活躍できるよう、企業とのマッチングに取り組む。

学生などの活力を活かして地域の様々な課題の解決やスタートアップのチャレンジ等の取組の促進が図られるよう、地元の大学等との連携を積極的に推し進める。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
若者(20歳代)の地域活動への参加割合(%)	20.1	25.1

(具体的な事業)

事業名	内容
雇用対策等事業【再掲】	・新規学卒者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援
学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト【再掲】	・学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援
<u>(項目追加)</u>	

(4) 地方とのつながりの構築

① 関係人口の創出・拡大

岡山市の魅力や特色を首都圏等へ情報発信し、関係人口の創出・拡大を図る。

② 地方への資金の流れの創出・拡大

民間企業の参画を促す「地方創生応援税制」等を活用することで、活力ある地域の創出を図る。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

■ 子育てしやすいまちと思う保護者の割合(%)

54.4 (H30) → 65.0 (R5)

■ 保育所等の待機児童数(人)

259 (R2.4.1) → 0 (R8.4.1)

■ 放課後児童クラブの入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合(%)

77.3 (R2.4.1) → 100 (R8.4.1)



基本的方向

(1) 保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消

待機児童・未入園児の解消に向け、保育所の利用者の増加に適切に対応する。さらに、将来にわたり質の高い就学前教育と保育を安定的に提供するための取組を進める。

小学生の放課後等の居場所を確保し、利用希望者全員に適切な育成支援を提供できるよう、放課後児童クラブの安定的な運営や受入れ施設の整備を進める。

(具体的な事業)

事業名	内容
雇用対策等事業【再掲】	・新規学卒者を対象とした合同企業説明会の開催 ・大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等 ・市内企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への情報発信支援
学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト【再掲】	・学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援
<u>安全・安心ネットワーク支援事業(若者の地域活動への参加促進)</u>	<u>・地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催</u>

(4) 地方とのつながりの構築

① 関係人口の創出・拡大

デジタル技術等を活用するなどして岡山市の魅力や特色を首都圏等へ情報発信し、関係人口の創出・拡大を図る。

② 地方への資金の流れの創出・拡大

民間企業の参画を促す「地方創生応援税制」等を活用することで、活力ある地域の創出を図る。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

■ 子育てしやすいまちと思う保護者の割合(%)

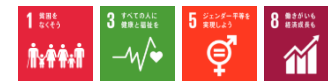
54.4 (H30) → 65.0 (R5)

■ 保育所等の待機児童数(人)

259 (R2.4.1) → 0 (R8.4.1)

■ 放課後児童クラブの入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合(%)

77.3 (R2.4.1) → 100 (R8.4.1)



基本的方向

(1) 保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消

待機児童解消の取組を継続するとともに、将来にわたり安定的に良質な就学前教育・保育を提供するため、保育所等の利用者の増減に適切に対応する。

小学生の放課後等の居場所を確保し、利用希望者全員に適切な育成支援を提供できるよう、放課後児童クラブの安定的な運営や受入れ施設の整備を進める。

(2)結婚・出産・子育て支援

出産・育児に不安を抱えたまま出産し、支援者が少ない中で孤立した状態で子育てをする保護者の子育てに対する不安感や負担感を和らげ、安心して子育てができる取組を進める。

また、虐待やいじめ、不登校、障害のある子ども、外国人の親子等、きめ細やかなサポートを必要とする子どもやその家庭の問題を早期に発見するとともに、状況やニーズに応じた切れ目のない支援を行う。また、相対的貧困率が高い傾向にあるひとり親家庭等に対して、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策の充実を図り、多様な主体が連携し、地域社会全体で子どもや子育て家庭を支えていく。

(3)ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進

ワーク・ライフ・バランスを一層推進し、女性も男性も働きやすい職場環境づくりを進めていく。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

(1)保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消

①幼保連携型認定こども園等の整備を推進

幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の整備を進めるとともに、施設の民営化や統廃合を進める。

就学前教育・保育を担う人材を確保するため、処遇改善や現場を離れている潜在保育士の再就職支援等に取り組むとともに、施設での働き方改革や業務効率化の推進等により、保育士が生涯働ける環境づくりを進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
保育所等の待機児童数【再掲】(人)	259(R2.4.1)	0(R8.4.1)

(具体的な事業)

事業名	内容
私立保育所等の施設整備	・私立保育所等の新設・増築等の施設整備を実施する事業者に対する補助金交付
施設配置の最適化に向けた施設整備等推進事業	・市立幼保連携型認定こども園を中学校区ごとに1園ずつ整備するとともに、その他の施設は民営化や統廃合
保育士確保支援事業	・保育士資格を持ちながら保育所等で就労していない「潜在保育士」への保育士・保育所支援センターにおける就職相談やハローワークと連携した就職面接会等による就職促進を通じた保育人材の確保及び働き方改革や良好な人間関係を支援するための研修実施等による保育士の離職防止

(2)結婚・出産・子育て支援

出産・育児に不安を抱えたまま出産し、支援者が少ない中で孤立した状態で子育てをする保護者の子育てに対する不安感や負担感を和らげ、安心して子育てができる取組を進める。

また、虐待やいじめ、不登校、障害のある子ども、外国人の親子等、きめ細やかなサポートを必要とする子どもやその家庭の問題を早期に発見するとともに、状況やニーズに応じた切れ目のない支援を行う。また、相対的貧困率が高い傾向にあるひとり親家庭等に対して、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策の充実を図り、多様な主体が連携し、地域社会全体で子どもや子育て家庭を支えていく。

(3)ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進

ワーク・ライフ・バランスを一層推進し、女性も男性も働きやすい職場環境づくりを進めていく。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

(1)保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消

①幼保連携型認定こども園等の整備を推進

幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の整備を進めるとともに、施設の民営化や統廃合を進める。

就学前教育・保育を担う人材を確保するため、処遇改善や現場を離れている潜在保育士の再就職支援等に取り組むとともに、施設での働き方改革や業務効率化の推進等により、保育士が生涯働ける環境づくりを進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
保育所等の待機児童数【再掲】(人)	259(R2.4.1)	0(R8.4.1)

(具体的な事業)

事業名	内容
私立保育所等の施設整備	・私立保育所等の新設・増築等の施設整備を実施する事業者に対する補助金交付
施設配置の最適化に向けた施設整備等推進事業	・市立幼保連携型認定こども園を中学校区ごとに1園ずつ整備するとともに、その他の施設は民営化や統廃合
保育士確保支援事業	・保育士資格を持ちながら保育所等で就労していない「潜在保育士」への保育士・保育所支援センターにおける就職相談やハローワークと連携した就職面接会等による就職促進を通じた保育人材の確保及び働き方改革や良好な人間関係を支援するための研修実施等による保育士の離職防止

保育士処遇改善事業	・私立保育所等に勤務する保育士等に対する国の処遇改善事業(人材費の上乗せや賃金改善など)に加えた市独自の <u>上乗せ補助</u> の実施による保育人材の確保
-----------	---

②放課後児童クラブの整備を推進

小学生の放課後の居場所を確保し、利用者全員に適切な育成支援を提供できるよう、放課後児童クラブの安定的な運営や受入れ施設の整備を進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
放課後児童クラブ入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合【再掲】(%)	77.3 (R2.4.1)	100 (R8.4.1)

(具体的な事業)

事業名	内容
放課後児童健全育成事業	・放課後児童クラブ施設の計画的な整備、運営体制の充実

(2)結婚・出産・子育て支援

①妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援

安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、健康診査、乳児家庭全戸訪問など、妊産婦、乳幼児に関する保健事業を引き続き進めるとともに、おかやま産前産後相談ステーションを活用し、相談支援体制を充実する。

家庭や子どもに関する様々な相談に身近な場所で応じることができるよう、地域子育て支援センターにおける育児不安等への相談・指導や育児講座等の実施、児童館等における子育て中の親子が気軽に集い相互交流できる場の提供等を行う。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
心豊かな岡山っ子応援団賛助団員(団体) ※	69	90
子育てしやすいまちと思う保護者の割合【再掲】(%)	54.4 (H30)	65.0 (R5)

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
シルバー世代産前産後応援事業	・シルバー人材センターの登録者による、事前登録した産前1か月から産後5か月の妊産婦を対象にした育児・家事支援の実施
ファミリーサポート事業	・ファミリー・サポート・センターでの、地域において育児の援助を受けたい者(依頼会員)と育児の援助を行いたい者(提供会員)との仲介による会員間での育児の相互援助活動の支援
地域での子育て支援	・心豊かな岡山っ子応援団

保育士処遇改善事業	・私立保育所等に勤務する保育士等に対する国の処遇改善事業(人材費の上乗せや賃金改善など)に加えた市独自の <u>上乗せ補助</u> の実施による保育人材の確保
-----------	---

②放課後児童クラブの整備を推進

小学生の放課後の居場所を確保し、利用者全員に適切な育成支援を提供できるよう、放課後児童クラブの安定的な運営や受入れ施設の整備を進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
放課後児童クラブ入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合【再掲】(%)	77.3 (R2.4.1)	100 (R8.4.1)

(具体的な事業)

事業名	内容
放課後児童健全育成事業	・放課後児童クラブ施設の計画的な整備、運営体制の充実

(2)結婚・出産・子育て支援

①妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援

安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、健康診査、乳児家庭全戸訪問など、妊産婦、乳幼児に関する保健事業を引き続き進めるとともに、おかやま産前産後相談ステーションを活用し、相談支援体制を充実する。

家庭や子どもに関する様々な相談に身近な場所で応じることができるよう、地域子育て支援センターにおける育児不安等への相談・指導や育児講座等の実施、児童館等における子育て中の親子が気軽に集い相互交流できる場の提供等を行う。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
心豊かな岡山っ子応援団賛助団員(団体) ※	69	90
子育てしやすいまちと思う保護者の割合【再掲】(%)	54.4 (H30)	65.0 (R5)

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
シルバー世代産前産後応援事業	・シルバー人材センターの登録者による、事前登録した産前1か月から産後5か月 <u>(多胎児・多子世帯(出産予定日において5歳以下の子どもが3人以上いる世帯)は産後12か月)までの妊産婦</u> を対象にした育児・家事支援の実施
ファミリーサポート事業	・ファミリー・サポート・センターでの、地域において育児の援助を受けたい者(依頼会員)と育児の援助を行いたい者(提供会員)との仲介による会員間での育児の相互援助活動の支援
地域での子育て支援	・心豊かな岡山っ子応援団

	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパーク普及事業 ・子育て応援サイトの運営
妊産婦相談支援事業	・妊娠前から産後に特化した助産師等専門職による相談窓口「おかやま産前産後相談ステーション」を活用した妊産婦の相談支援体制の充実
産後母子支援事業	・産後うつや新生児への虐待予防を図る視点から、産後も安心して子育てができるよう、出産後間もない時期の産婦に対する支援を実施

②困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

児童家庭相談体制や教育、医療、保健、福祉、警察、司法などの関係機関・団体との連携をより一層強化し、きめ細かなサポートを必要とする子どもや家庭を早期に発見し、適切に支援する。

また、困難を抱える子育て世帯への経済的支援や、教育、就労、生活面などにおける総合的な支援を充実させ、子どもの貧困対策やひとり親家庭の自立支援を進める。

(具体的な事業)

事業名	内容
子ども家庭総合支援拠点の設置	・18歳までの子どもとその家庭、妊産婦等に対して、関係機関と連携しながら専門性を持って切れ目のない支援を行う子ども家庭総合支援拠点を整備
ひとり親家庭支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子家庭等の生活の安定に向けた生活相談や就労支援等の実施 ・子どもの生活習慣の改善、基礎学力の向上、高等学校進学等を促進するため、生活保護受給世帯、児童扶養手当全額受給世帯、生活困窮世帯の小学生・中学生・高校生・高校生世代に対する生活支援・学習支援
保護者支援プログラム	・児童虐待を行った保護者に対し、虐待の再発を防止するための、医学的・心理学的知見に基づいた支援プログラムの実施

(3)ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進

①ワーク・ライフ・バランスの推進

企業における長時間労働を前提とした労働慣行を改め、多様で柔軟な働き方により、女性も男性も仕事と家庭生活を両立できるよう、経済団体やNPOなど多様な主体と連携して啓発に取り組む。

また、男性の育児・家事への参加意識の高揚を図るとともに、子育ての具体的な知識などの習得を支援することにより、女性の育児・家事の負担の軽減を図る。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合(%)	45.5 (H30)	<u>67.0 (R6)</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパーク普及事業 ・子育て応援サイトの運営 ・<u>子育てアプリでの情報プッシュ型発信</u>
妊産婦相談支援事業	・妊娠前から産後に特化した助産師等専門職による相談窓口「おかやま産前産後相談ステーション」を活用した妊産婦の相談支援体制の充実
産後母子支援事業	・産後うつや新生児への虐待予防を図る視点から、産後も安心して子育てができるよう、出産後間もない時期の産婦に対する支援を実施

②困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

児童家庭相談体制や教育、医療、保健、福祉、警察、司法などの関係機関・団体との連携をより一層強化し、きめ細かなサポートを必要とする子どもや家庭を早期に発見し、適切に支援する。

また、困難を抱える子育て世帯への経済的支援や、教育、就労、生活面などにおける総合的な支援を充実させ、子どもの貧困対策やひとり親家庭の自立支援を進める。

(具体的な事業)

事業名	内容
子ども家庭総合支援拠点の設置	・18歳までの子どもとその家庭、妊産婦等に対して、関係機関と連携しながら専門性を持って切れ目のない支援を行う子ども家庭総合支援拠点を整備
ひとり親家庭支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子家庭等の生活の安定に向けた生活相談や就労支援等の実施 ・子どもの生活習慣の改善、基礎学力の向上、高等学校進学等を促進するため、生活保護受給世帯、児童扶養手当全額受給世帯、生活困窮世帯の小学生・中学生・高校生・高校生世代に対する生活支援・学習支援
保護者支援プログラム	・児童虐待を行った保護者に対し、虐待の再発を防止するための、医学的・心理学的知見に基づいた支援プログラムの実施

(3)ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進

①ワーク・ライフ・バランスの推進

企業における長時間労働を前提とした労働慣行を改め、多様で柔軟な働き方により、女性も男性も仕事と家庭生活を両立できるよう、経済団体やNPOなど多様な主体と連携して啓発に取り組む。

また、男性の育児・家事への参加意識の高揚を図るとともに、子育ての具体的な知識などの習得を支援することにより、女性の育児・家事の負担の軽減を図る。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合(%)	45.5 (H30)	<u>70.6 (R7)</u>

(具体的な事業)

事業名	内容
女性が輝くまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進に向けた講演会やセミナーの開催 ・企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等の実施 ・女性活躍及び仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証
子育てパパ・プレパパ応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・パパ(概ね3歳までの子どもを持つ男性)・プレパパ(これから子育てをする予定の男性)を対象とした育児・家事参加に関する意識啓発 ・赤ちゃんのむく浴指導や疑似妊婦体験、子どもとのふれあい講座など、育児に関する具体的な技術の習得ができる研修の実施

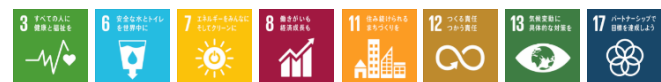
②一人ひとりの状況や希望に応じた女性への就労支援

結婚や出産等のライフステージの変化等により離職した女性も含め、希望する形態での就労に結びつくように、一人ひとりの状況や希望に応じたきめ細かな支援を行う。

(具体的な事業)

事業名	内容
女性が輝くまちづくり推進事業【再掲】	・離職した女性のスキルアップや再就職支援
雇用対策等事業【再掲】	・おかやまマザーズハローワークと共同で利便性の高い場所において出張相談を実施

基本目標4 安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する



【数値目標】

■居住誘導区域内人口密度(人/h a)

58.4 (H27) → 59.6 (R7)

■健康寿命(歳)

男性 71.6 (H28) → 72.6 (R4)

女性 74.3 (H28) → 76.2 (R4)

基本的方向

(具体的な事業)

事業名	内容
女性が輝くまちづくり推進事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進に向けた講演会やセミナーの開催 ・企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等の実施 ・女性活躍及び仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいる企業の表彰・認証
子育てパパ・プレパパ応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・パパ(概ね3歳までの子どもを持つ男性)・プレパパ(これから子育てをする予定の男性)を対象とした育児・家事参加に関する意識啓発 ・赤ちゃんのむく浴指導や疑似妊婦体験、子どもとのふれあい講座など、育児に関する具体的な技術の習得ができる研修の実施

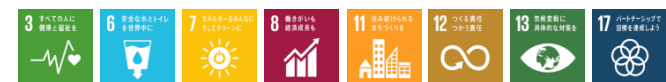
②一人ひとりの状況や希望に応じた女性への就労支援

結婚や出産等のライフステージの変化等により離職した女性も含め、希望する形態での就労に結びつくように、一人ひとりの状況や希望に応じたきめ細かな支援を行う。

(具体的な事業)

事業名	内容
女性が輝くまちづくり推進事業【再掲】	・離職した女性のスキルアップや再就職支援
雇用対策等事業【再掲】	・おかやまマザーズハローワークと共同で利便性の高い場所において出張相談を実施

基本目標4 安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する



【数値目標】

■居住誘導区域内人口密度(人/h a)

58.4 (H27) → 59.6 (R7)

■健康寿命(歳)

男性 71.7 (H28) → 72.6 (R4)

女性 74.4 (H28) → 76.2 (R4)

基本的方向

(1)コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり

都市と自然が調和した住みやすさを将来的に確保していくために、低密度な市街地の拡大を抑制するなど、人口や都市規模に応じた適正な土地利用を推進する。

中四国のゲートウェイとしての役割を担う岡山市の中心市街地は、商業・業務・集客施設やコンベンション施設等が集積するJR岡山駅周辺エリアと、歴史・文化施設が集積する旧城下町エリアの2つの核で形成されており、それぞれのエリアが固有の魅力を高めているとともに、西川緑道公園や県庁通り等で両エリアをつなぐ魅力ある都心空間づくりを進めている。これらの取組を面的に拡げることにより、まちなか全体の魅力と賑わい、回遊性の向上を図っていく。

また、岡山城、岡山後楽園等の歴史資産や、美術館、博物館等の文化施設が集積する「歴史・文化ゾーン」における魅力を高めるとともに来訪者の増加や都市格の向上につなげる。

(2)地域連携の推進

中山間地域等の周辺地域において、それぞれが持つ固有の地域資源をいかした取組を、市民をはじめ、NPOや企業などの多様な主体と協働で進めることにより、魅力と活力のある地域を創出していくとともに、医療、教育、公共交通などの日常生活サービス機能やコミュニティ機能を維持していく。

(3)健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源を生かした地域づくり

生涯にわたり健康でいきいきと暮らしていけるよう健康寿命の延伸を図る取組や、意欲ある高齢者の社会参加などをさらに進めるとともに、医療・介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、岡山市の豊富な医療・介護資源をいかしつつ、医療・介護の連携強化に取り組む。

また、新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の予防及びまん延防止に向けた国の施策や、患者の発生動向などの状況の変化に迅速かつ柔軟に対応できるよう情報収集などに努め、必要な対策を講じるとともに、市民に対する正しい知識の普及や関係機関との更なる連携強化を進める。

(4)安心に暮らせる地域づくり

市民の防災意識や災害時の対応への関心は高まっており、地域住民による防災訓練のほか、防災学習会の開催や防災マップの作成など、地域における自主的な防災・減災活動を進める。

(5)地域の課題解決のための持続可能な取組

持続可能なまちづくりを実現するために、市民に対し幅広くSDGsの理解促進を図っていくとともに、ESD先進都市という特色を活かし、SDGsの達成につながるESDの取組を一層進めていく。

また、多様化する地域課題に対応するため、行政や地縁組織のほか、企業や大学、NPOな

(1)コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり

都市と自然が調和した住みやすさを将来に確保していくために、低密度な市街地の拡大を抑制するなど、人口や都市規模に応じた適正な土地利用を推進する。

中四国のゲートウェイとしての役割を担う岡山市の中心市街地は、商業・業務・集客施設やコンベンション施設等が集積するJR岡山駅周辺エリアと、歴史・文化施設が集積する旧城下町エリアの2つの核で形成されており、それぞれのエリアが固有の魅力を高めているとともに、西川緑道公園やハレまち通り（旧県庁通り）等で両エリアをつなぐ魅力ある都心空間づくりを進めている。これらの取組を面的に拡げることにより、まちなか全体の魅力と賑わい、回遊性の向上を図っていく。

また、岡山城、岡山後楽園等の歴史資産や、美術館、博物館等の文化施設が集積する「歴史・文化ゾーン」における魅力を高めるとともに来訪者の増加や都市格の向上につなげる。

(2)地域連携の推進

中山間地域等の周辺地域において、市民をはじめNPOや企業など多様な主体と協働して、固有の地域資源をいかした取組やデジタル技術の活用を進めることにより、魅力と活力のある地域を創出していくとともに、医療、教育、公共交通などの日常生活サービス機能やコミュニティ機能を維持していく。

(3)健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源を生かした地域づくり

生涯にわたり健康でいきいきと暮らしていけるよう健康寿命の延伸を図る取組や、意欲ある高齢者の社会参加などをさらに進めるとともに、医療・介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、岡山市の豊富な医療・介護資源をいかしつつ、医療・介護の連携強化に取り組む。

また、遠隔地などからもリモートでオンライン健康相談を可能にするなど、きめ細やかな福祉サービスの提供を進める。

さらに、新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の予防及びまん延防止に向けた国の施策や、患者の発生動向などの状況の変化に迅速かつ柔軟に対応できるよう情報収集などに努め、必要な対策を講じるとともに、市民に対する正しい知識の普及や関係機関との更なる連携強化を進める。

(4)安心に暮らせる地域づくり

市民の防災意識や災害時の対応への関心が高まっていることから、「逃げ遅れゼロ」を目指して、地域住民による防災訓練のほか、防災学習会の開催や防災マップの作成など、地域における自主的な防災・減災活動を進めるとともに、デジタルを活用した防災力の向上を図る。

(5)地域の課題解決のための持続可能な取組

持続可能なまちづくりを実現するために、市民に対し幅広くSDGsの理解促進を図っていくとともに、ESD先進都市という特色を活かし、SDGsの達成につながるESDの取組を一層進めていく。

また、多様化する地域課題に対応するため、行政や地縁組織のほか、企業や大学、NPOな

どの多様な主体の参画と協働による取組が着実に増えている。今後も、持続可能なまちづくりに向けて、これまで以上に多様な主体が担い手となり、協働して地域課題に取り組んでいく。
 持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガス排出量の削減等に取り組むとともに、脱炭素社会を目指して、岡山連携中枢都市圏の自治体等と共同して取組を検討する。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

(1)コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり

①計画的なまちづくりの推進

「岡山市立地適正化計画」に居住や都市機能を誘導する区域を定め、一定の人口密度を維持するとともに、必要な都市機能を確保し、それらの区域を公共交通ネットワークで結ぶことにより、人口減少、超高齢化社会においても、若年者から高齢者まで歩いて健康に暮らすことができるなど、生活の質が高く活力あふれる持続可能な都市づくりを進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
居住誘導区域内人口密度【再掲】(人/ha)	58.4(H27)	59.6
JR岡山駅乗降客数(1日当たり)(万人) ※	13.9	14.3

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
土地利用の適正誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法、農地法等の適正な運用及び都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進 ・立地適正化計画に基づく都市機能や居住の誘導区域への誘導 ・公共交通施策等の関連施策と連携した、コンパクトでネットワーク化された都市づくりの推進
空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> ・法及び条例に基づく設置と密接に連携した助成制度を軸とした空き家等の適正管理の促進
鉄道の利用環境改善	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎線LRT化の検討や駅前広場等の交通結節点強化による鉄道利用環境の改善
まちなかの魅力やにぎわいをつなぐ公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ及びネットワーク化に向けた取組の推進 ・バスロケーションシステム等の案内情報の充実等

②公共交通の維持・確保

地域における日常生活に必要な交通手段を確保・維持するため、コミュニティバスの運行経費への助成を行うとともに、交通事業者との連携により、利用促進に資する運行サービスの改善に取り組む。また、公共交通が身近に無く、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域では、地域住民及び交通事業者との連携により、地域特性に応じた生活交通の導入について検討する。

どの多様な主体の参画と協働による取組が着実に増えている。今後も、持続可能なまちづくりに向けて、これまで以上に多様な主体が担い手となり、協働して地域課題に取り組んでいく。
 持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガス排出量の削減等に取り組むとともに、脱炭素社会を目指して、岡山連携中枢都市圏の自治体等と共同して取組を検討する。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

(1)コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり

①計画的なまちづくりの推進

「岡山市立地適正化計画」に居住や都市機能を誘導する区域を定め、一定の人口密度を維持するとともに、必要な都市機能を確保し、それらの区域を公共交通ネットワークで結ぶことにより、人口減少、超高齢化社会においても、若年者から高齢者まで歩いて健康に暮らすことができるなど、生活の質が高く活力あふれる持続可能な都市づくりを進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
居住誘導区域内人口密度【再掲】(人/ha)	58.4(H27)	59.6
JR岡山駅乗降客数(1日当たり)(万人) ※	13.9	14.3

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
土地利用の適正誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法、農地法等の適正な運用及び都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進 ・立地適正化計画に基づく都市機能や居住の誘導区域への誘導 ・公共交通施策等の関連施策と連携した、コンパクトでネットワーク化された都市づくりの推進
空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> ・法及び条例に基づく設置と密接に連携した助成制度を軸とした空き家等の適正管理の促進
鉄道の利用環境改善	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎線LRT化の検討や駅前広場等の交通結節点強化による鉄道利用環境の改善
まちなかの魅力やにぎわいをつなぐ公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ及びネットワーク化に向けた取組の推進 ・バスロケーションシステム等の案内情報の充実等

②公共交通の維持・確保

地域における日常生活に必要な交通手段を確保・維持するため、コミュニティバスの運行経費への助成を行うとともに、交通事業者との連携により、利用促進に資する運行サービスの改善に取り組む。また、公共交通が身近に無く、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域では、地域住民及び交通事業者との連携により、地域特性に応じた生活交通の導入について検討する。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値(R7)
自宅から都心や身近な拠点に公共交通で30分以内に行ける人口(万人)	30.3 (H27)	36.1
生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)(地区)	3	8

(具体的な事業)

事業名	内容
新たな生活交通の確保	・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討
岡山市地域公共交通利便増進実施計画の策定	・岡山市地域公共交通網形成計画に基づき、持続可能な公共交通の実現に向けた具体の施策の取組のための岡山市地域公共交通利便増進実施計画の策定

③まちなかの賑わい創出

旧城下町エリアにおいて、鳥城公園(石山公園地区)や旭川おしろみちの再整備、岡山芸術創造劇場の整備をはじめとする各種事業を展開していくことにより、伝統文化と新たな文化が融合し、賑わいとゆとりの感じられる魅力的なエリアを創出する。

路面電車の岡山駅前広場への乗り入れにあわせた駅前広場の整備、及び路面電車の延伸、環状化等により、公共交通の利便性の向上を図るとともに、県庁通り等で安心して楽しく歩ける道路空間づくりなどを進め、回遊性を向上し、まちなかの賑わい創出を推進する。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値(R7)
中心市街地の歩行者通行量(人) ※	(平日) 4,324 (H29) (休日) 5,654 (H29)	(平日) 4,400 (休日) 5,700
JR岡山駅乗降客数(1日当たり)【再掲】(万人) ※	13.9	14.3

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
旧城下町エリアの賑わいづくりの推進	・市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・市民文化ホールに替わる新しい文化芸術施設「岡山芸術創造劇場」の整備 ・「旭川かわまちづくり計画」に基づき、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川おしろみちの整備や鳥城公園(石山公園地区)の再整備等 ・市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
自宅から都心や身近な拠点に公共交通で30分以内に行ける人口(万人)	30.3 (H27)	36.1
生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)(地区)	3	8

(具体的な事業)

事業名	内容
新たな生活交通の確保	・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討
岡山市地域公共交通利便増進実施計画の策定	・岡山市地域公共交通網形成計画に基づき、持続可能な公共交通の実現に向けた具体の施策の取組のための岡山市地域公共交通利便増進実施計画の策定

③まちなかの賑わい創出

旧城下町エリアにおいて、鳥城公園(石山公園地区)や旭川おしろみちの再整備、岡山芸術創造劇場の整備をはじめとする各種事業を展開していくことにより、伝統文化と新たな文化が融合し、賑わいとゆとりの感じられる魅力的なエリアを創出する。

路面電車の岡山駅前広場への乗り入れにあわせた駅前広場の整備、及び路面電車の延伸、環状化等により、公共交通の利便性の向上を図るとともに、ハレまち通り(旧県庁通り)等で安心して楽しく歩ける道路空間づくりなどを進め、回遊性を向上し、まちなかの賑わい創出を推進する。

重要業績指標(K P I)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
中心市街地の歩行者通行量(人) ※	(平日) 4,324 (H29) (休日) 5,654 (H29)	(平日) 4,400 (休日) 5,700
JR岡山駅乗降客数(1日当たり)【再掲】(万人) ※	13.9	14.3

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
旧城下町エリアの賑わいづくりの推進	・市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・市民文化ホールに替わる新しい文化芸術施設「岡山芸術創造劇場」の整備 ・「旭川かわまちづくり計画」に基づき、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川おしろみちの整備や鳥城公園(石山公園地区)の再整備等 ・市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり

歩いて楽しい道路空間創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁通りにおいて、官民連携の道路空間の利活用に向けた組織やルールづくり、空き店舗や空き地の有効活用による取組 ・まちなかの賑わい創出や回遊性の向上を官民連携により面的に拡げる取組 ・県庁通りにおける賑わいの創出や回遊性向上を目指し、「車中心」から「人優先」の安全で快適な「歩いて楽しい」道路空間の再構築 ・商店街等における官民連携の道路空間の利活用に向けた取組
都心創生まちづくり事業	・旧内山下小学校や市民会館等の跡地活用の検討等

④魅力的な商店街の振興

商店街が行う店舗誘致活動、集客イベントをはじめとした来街者の誘導及び販売促進・顧客獲得に向けた取組、安全・安心で快適な商業空間の創出に向けたアーケードや防犯設備等の基盤整備、外部団体との連携による新たな商店街の賑わいづくりに対する支援などを行い、商店街の魅力を高める。

重要業績指標(KPI)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
中心市街地の歩行者通行量【再掲】(人) ※	(平日) 4,324 (H29) (休日) 5,654 (H29)	(平日) 4,400 (休日) 5,700

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
商店街等地域商業の活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街等が行う商店街活性化に向けた取組や、地域商業の活性化に向けた取組への支援 ・市内中心部の顧客吸引力や商業力等を計るために必要な各種調査の実施 ・商店会連合会が主催する魅力的なイベントの開催や情報発信、調査研究事業等への支援

⑤文化芸術施設等を拠点とした文化振興やスポーツによる活力の創出

「岡山芸術創造劇場」を地域の文化芸術の継承・創造・発信や多様な文化芸術の担い手の育成、活動の拠点として整備を進め、その開館を契機として既存文化事業の見直しを行いながら、文化の薫る魅力と賑わいのあるまちづくりを進める。

さらに、岡山市をホームタウンとするトップチームへの一層の支援や県内外から多くの参加者が集まる「おかやまマラソン」の開催を通じて、スポーツによるまちの活力向上を図る。

歩いて楽しい道路空間創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ハレまち通りにおいて、官民連携の道路空間の利活用に向けた組織やルールづくり、空き店舗や空き地の有効活用による取組 ・まちなかの賑わい創出や回遊性の向上を官民連携により面的に拡げる取組 ・ハレまち通りにおける賑わいの創出や回遊性向上を目指し、「車中心」から「人優先」の安全で快適な「歩いて楽しい」道路空間の再構築 ・商店街等における官民連携の道路空間の利活用に向けた取組
都心創生まちづくり事業	・旧内山下小学校や市民会館等の跡地活用の検討等

④魅力的な商店街の振興

商店街が行う店舗誘致活動、集客イベントをはじめとした来街者の誘導及び販売促進・顧客獲得に向けた取組、安全・安心で快適な商業空間の創出に向けたアーケードや防犯設備等の基盤整備、外部団体との連携による新たな商店街の賑わいづくりに対する支援などを行い、商店街の魅力を高める。

重要業績指標(KPI)	基準値 (R1)	最終目標値 (R7)
中心市街地の歩行者通行量【再掲】(人) ※	(平日) 4,324 (H29) (休日) 5,654 (H29)	(平日) 4,400 (休日) 5,700

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標

(具体的な事業)

事業名	内容
商店街等地域商業の活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街等が行う商店街活性化に向けた取組や、地域商業の活性化に向けた取組への支援 ・市内中心部の顧客吸引力や商業力等を計るために必要な各種調査の実施 ・商店会連合会が主催する魅力的なイベントの開催や情報発信、調査研究事業等への支援 ・AIカメラによる商店街等歩行者通行量調査

⑤文化芸術施設等を拠点とした文化振興やスポーツによる活力の創出

「岡山芸術創造劇場」を地域の文化芸術の継承・創造・発信や多様な文化芸術の担い手の育成、活動の拠点として整備を進め、その開館を契機として既存文化事業の見直しを行いながら、文化の薫る魅力と賑わいのあるまちづくりを進める。

さらに、岡山市をホームタウンとするトップチームへの一層の支援や県内外から多くの参加者が集まる「おかやまマラソン」の開催を通じて、スポーツによるまちの活力向上を図る。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合(%)	57.3	65.0

(具体的な事業)

事業名	内容
文化芸術に親しむ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」等の開催 ・地域の文化活動団体の表現の場である「岡山市芸術祭」の開催 ・岡山市出身の坪田譲治を顕彰する「坪田譲治文学賞」と市民の創作活動を奨励する「市民の童話賞」の実施
岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援	・県内唯一のプロオーケストラである岡山フィルハーモニック管弦楽団の運営支援を通じた、プロの演奏に触れる機会の増加や都市の魅力向上
岡山芸術交流の開催	・岡山城の歴史・文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流」の開催、実施結果の検証を踏まえた次回開催を目指した検討
岡山芸術創造劇場整備事業	・市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・市民文化ホールに替わる新しい文化芸術施設の整備
トップチーム支援事業	・市民デーでの各種イベントの開催や選手との交流イベント等への支援
おかやまマラソン	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県や関係団体との共同による「おかやまマラソン」の開催 ・各種関連事業の実施による、岡山の魅力発信

(2)地域連携の推進

①周辺地域の活性化

中山間地域等の周辺地域において、経済・産業の振興、移住・定住による地域活性化、歴史・文化の継承や生活交通等の生活機能サービスの維持・向上等の取組を地域振興基金も活用しながら促進する。また、市民をはじめ、NPOや企業などの多様な主体が地域の課題解決や地域資源を活用した魅力ある地域づくりを進めることを支援する。

さらに、公共交通が身近に無く、買い物や通院等の日常生活における移動が不便な地域では、地域住民及び交通事業者との連携により、地域特性に応じた生活交通の導入について検討する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度(%)	37.8	39.3

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合(%)	57.3	65.0

(具体的な事業)

事業名	内容
文化芸術に親しむ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」等の開催 ・地域の文化活動団体の表現の場である「岡山市芸術祭」の開催 ・岡山市出身の坪田譲治を顕彰する「坪田譲治文学賞」と市民の創作活動を奨励する「市民の童話賞」の実施
岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援	・県内唯一のプロオーケストラである岡山フィルハーモニック管弦楽団の運営支援を通じた、プロの演奏に触れる機会の増加や都市の魅力向上
岡山芸術交流の開催	・岡山城の歴史・文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流」の開催、実施結果の検証を踏まえた次回開催を目指した検討
岡山芸術創造劇場整備事業	・市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・市民文化ホールに替わる新しい文化芸術施設の整備
トップチーム支援事業	・市民デーでの各種イベントの開催や選手との交流イベント等への支援
おかやまマラソン	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県や関係団体との共同による「おかやまマラソン」の開催 ・各種関連事業の実施による、岡山の魅力発信

(2)地域連携の推進

①周辺地域の活性化

中山間地域等の周辺地域において、経済・産業の振興、移住・定住による地域活性化、歴史・文化の継承や生活交通等の生活機能サービスの維持・向上等の取組を地域振興基金も活用しながら促進する。また、市民をはじめ、NPOや企業などの多様な主体が地域の課題解決や地域資源を活用した魅力ある地域づくりを進めることを支援する。

さらに、公共交通が身近に無く、買い物や通院等の日常生活における移動が不便な地域では、地域住民及び交通事業者との連携により、地域特性に応じた生活交通の導入について検討する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度(%)	37.8	39.3

(具体的な事業)

事業名	内容
地域振興基金活用事業	・経済・産業の振興、歴史文化資産の継承や生活交通等の生活機能サービスの維持・向上 ・地域住民をはじめ、NPOや企業等による地域課題の解決への取組や地域の産品等を活用した地域活力の創出などに対する支援
新たな生活交通の確保【再掲】	・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討
地域おこし協力隊事業	・主に中山間地域等への人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進

②連携中枢都市圏構想の推進

岡山市を中心都市とする8市5町の連携中枢都市圏で「連携協約」の締結及び「岡山連携中枢都市圏ビジョン」の策定を行い、連携施策を推進することにより、人口減少下にあっても地域経済を活性化し、圏域全体の持続可能な発展をめざすとともに、住民サービスの維持・向上を図り、安全・安心で利便性の高い暮らしを確保する。

(3)健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源を生かした地域づくり

①生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり

「健康ポイント事業」など、市民や企業の健康づくりを促進する事業を進めるとともに、健康的なサービスを提供する企業や店舗の拡大を図り、市民等の身近に健康がある環境の整備を進め、健康寿命の延伸に向けた健康づくりを推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
健康寿命【再掲】(歳)	男性 71.6 (H28) 女性 74.3 (H28)	男性 72.6 (R4) 女性 76.2 (R4)
生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数(人)	26	750 (R3~R7)

(具体的な事業)

事業名	内容
<u>SIB</u> を活用した健康ポイント事業	・企業等と連携し、インセンティブ付与を活用した健康的な生活習慣の促進
AIを活用した健康見える化事業	・AIを活用した将来疾病リスクの見える化の実施
<u>(項目追加)</u>	

(具体的な事業)

事業名	内容
地域振興基金活用事業	・経済・産業の振興、歴史文化資産の継承や生活交通等の生活機能サービスの維持・向上 ・地域住民をはじめ、NPOや企業等による地域課題の解決への取組や地域の産品等を活用した地域活力の創出などに対する支援
新たな生活交通の確保【再掲】	・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討
地域おこし協力隊事業	・主に中山間地域等への人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進

②連携中枢都市圏構想の推進

岡山市を中心都市とする8市5町の連携中枢都市圏で「連携協約」の締結及び「岡山連携中枢都市圏ビジョン」の策定を行い、連携施策を推進することにより、人口減少下にあっても地域経済を活性化し、圏域全体の持続可能な発展をめざすとともに、住民サービスの維持・向上を図り、安全・安心で利便性の高い暮らしを確保する。

(3)健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源を生かした地域づくり

①生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり

「健康ポイント事業」など、市民や企業の健康づくりを促進する事業を進めるとともに、健康的なサービスを提供する企業や店舗の拡大を図り、市民等の身近に健康がある環境の整備を進め、健康寿命の延伸に向けた健康づくりを推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
健康寿命【再掲】(歳)	男性 71.7 (H28) 女性 74.4 (H28)	男性 72.6 (R4) 女性 76.2 (R4)
生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数【再掲】(人)	26	750 (R3~R7)

(具体的な事業)

事業名	内容
<u>アプリ</u> を活用した健康的な生活習慣推進事業【再掲】	・企業等と連携し、インセンティブ付与を活用した健康的な生活習慣の促進
AIを活用した健康見える化事業【再掲】	・AIを活用した将来疾病リスクの見える化の実施
<u>フレイル対策事業</u>	・ <u>フレイル予防の周知啓発</u> ・ <u>高齢者を対象としたフレイル健康チェックの実施</u>

SIBを活用した生涯活躍就労支援事業	・高齢者等のニーズに合った就労や社会参加のマッチング支援と企業等の高齢者雇用に対する理解の促進

②医療・介護の強みを生かした地域包括ケアシステムの構築

高齢者が自ら健康寿命の延伸に努め、地域社会で活躍し、医療や介護が必要になっても地域や人とのつながりを保ちつつ、自分らしい生活を人生の最期まで安心して続けられるよう、医療・介護の連携や高齢者の社会参加、認知症対策等を進め、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される体制である「地域包括ケアシステム」を推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
認知症サポーター数(人)	52,565	75,000
生活・介護支援サポーター養成数(人)	1,362	2,080

(具体的な事業)

事業名	内容
在宅医療介護連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア総合推進センターにおける、市民や専門職を対象とした医療・介護の相談・支援 ・<u>地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進</u> ・在宅医療・介護の人材育成 ・多職種連携等と情報共有の促進 ・市民向け講座による普及啓発等の実施
生活・介護支援サポーター養成	・高齢者を地域で支える担い手の養成を目的とした、市民向けの生活介護・支援サポーターの養成研修の実施
認知症サポーター養成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成 ・企業の従業員、子供、学生に対するサポーター養成の取組の強化
地域包括支援センター運営事業	・「総合相談・支援」、「介護予防ケアマネジメント」、「虐待防止・権利擁護」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」のサービス提供を通じた、地域で暮らす高齢者に対する介護・保健・医療・福祉など様々な面からの総合的な支援の実施

③感染症対策

平時から、感染症に関する正しい知識や、予防及びまん延の防止に関する情報等を市民に周知す

	(タブレット【アバター】によるフレイル健康チェックの活用)
生涯活躍就労支援事業【 <u>再掲</u> 】	・高齢者等のニーズに合った就労や社会参加のマッチング支援と企業等の高齢者雇用に対する理解の促進

②医療・介護の強みを生かした地域包括ケアシステムの構築

高齢者が自ら健康寿命の延伸に努め、地域社会で活躍し、医療や介護が必要になっても地域や人とのつながりを保ちつつ、自分らしい生活を人生の最期まで安心して続けられるよう、医療・介護の連携や高齢者の社会参加、認知症対策等を進め、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される体制である「地域包括ケアシステム」を推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
認知症サポーター数(人)	52,565	75,000
生活・介護支援サポーター養成数(人)	1,362	2,080

(具体的な事業)

事業名	内容
在宅医療介護連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア総合推進センターにおける、市民や専門職を対象とした医療・介護の相談・支援 ・在宅医療・介護の人材育成 ・多職種連携等と情報共有の促進 ・市民向け講座による普及啓発等の実施 ・<u>地域包括支援センターの活動支援及び認知症地域医療多職種連携の推進</u>
生活・介護支援サポーター養成	・高齢者を地域で支える担い手の養成を目的とした、市民向けの生活介護・支援サポーターの養成研修の実施
認知症サポーター養成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成 ・企業の従業員、子供、学生に対するサポーター養成の取組の強化
地域包括支援センター運営事業	・「総合相談・支援」、「介護予防ケアマネジメント」、「虐待防止・権利擁護」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」のサービス提供を通じた、地域で暮らす高齢者に対する介護・保健・医療・福祉など様々な面からの総合的な支援の実施

③感染症対策

平時から、感染症に関する正しい知識や、予防及びまん延の防止に関する情報等を市民に周知す

る。また、感染症発生時には、その発生状況等に応じて、必要な対策を講じていけるよう保健所体制の整備を行う。更に、感染症患者の発生や感染症対策の実施状況等について、迅速かつわかりやすく、患者等の人権にも配慮し、情報提供を行う。

(4) 安心に暮らせる地域づくり

市民一人ひとりが防災に関する十分な知識を持ち、自主防災の重要性を認識できるよう、防災学習会、防災訓練等を通じて、防災に対する意識の高揚を図る。

また、地域で主体的に防災活動を行う地域防災リーダーの育成や先進事例の発表、意見交換、さらに避難行動要支援者個別計画の策定支援等を通じて、地域での防災活動を活性化する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
自主防災組織率(%)	92.2	100

(具体的な事業)

事業名	内容
自主防災組織育成事業	・自主防災組織の結成促進、助成金の給付 ・ <u>防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成</u>

(5) 地域の課題解決のための持続可能な取組

① 地域の課題を地域で解決する課題解決型の活動と組織づくり

安全・安心ネットワークやコミュニティ協議会等の活動をはじめ、地域における課題解決につながる取組を支援することにより、地域住民の交流促進や地域の主体的な活動の活性化を図る。

また、行政や地縁組織、企業、大学、NPO等の多様な主体が協働による地域の社会課題解決を図るために、計画的な取組を推進することで、地域活動の担い手づくりや多様な主体の協働を進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
地域活動への参加割合(%)	45.3	50.8
企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(団体)	40	65

(具体的な事業)

事業名	内容
区づくり推進事業	・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成
市民協働推進事業	・岡山市の社会課題を市民と行政の協働で解決する事業への経費の一部助成

る。また、感染症発生時には、その発生状況等に応じて、必要な対策を講じていけるよう保健所体制の整備を行う。更に、感染症患者の発生や感染症対策の実施状況等について、迅速かつわかりやすく、患者等の人権にも配慮し、情報提供を行う。

(4) 安心に暮らせる地域づくり

「逃げ遅れゼロ」を目指し、デジタルを活用した防災力の向上を進めるとともに、市民一人ひとりが防災に関する十分な知識を持ち、自主防災の重要性を認識できるよう、防災学習会、防災訓練等を通じて、防災に対する意識の高揚を図る。

また、地域で主体的に防災活動を行う地域防災リーダーの育成や先進事例の発表、意見交換、さらに避難行動要支援者個別計画の策定支援等を通じて、地域での防災活動を活性化する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
自主防災組織率(%)	92.2	100

(具体的な事業)

事業名	内容
自主防災組織育成事業	・自主防災組織の結成促進、助成金の給付 ・ <u>男女ともに地域防災リーダーを育成するため、地域住民や公民館職員を対象とした防災士養成講座を開催</u>

(5) 地域の課題解決のための持続可能な取組

① 地域の課題を地域で解決する課題解決型の活動と組織づくり

安全・安心ネットワークやコミュニティ協議会等の活動をはじめ、地域における課題解決につながる取組を支援することにより、地域住民の交流促進や地域の主体的な活動の活性化を図る。

また、行政や地縁組織、企業、大学、NPO等の多様な主体が協働による地域の社会課題解決を図るために、計画的な取組を推進することで、地域活動の担い手づくりや多様な主体の協働を進める。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
地域活動への参加割合(%)	45.3	50.8
企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(団体)	40	65

(具体的な事業)

事業名	内容
区づくり推進事業	・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成
市民協働推進事業	・岡山市の社会課題を市民と行政の協働で解決する事業への経費の一部助成

・市民と行政双方から課題を提案し解決方法を検討するワークショップの開催

②ESDの推進による地域づくり・人づくりとSDGsの普及・啓発

持続可能な社会づくりを目指し、SDGsの理解促進と新たな実践行動につなげていくため、関連組織等と連携して、イベントやフォーラムなどSDGsの学びの機会を設ける。

また、地域課題を踏まえながらESDの視点で学びと活動を推進できる人材を育成し、SDGsの達成に貢献していく。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
ESDプロジェクト参加団体数(団体)	307	370

(具体的な事業)

事業名	内容
岡山ESDプロジェクト推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修やフォーラム開催のほか、学生を対象としたESDに関するインターンシップ等のプログラムの提供 ・優良事例の顕彰等を実施する岡山ESD推進協議会の経費への助成 ・ESD活動等の情報発信等

③環境保全活動の推進

脱炭素型の都市の実現に向けて、エネルギーの地産地消、省エネルギー化、安定的なエネルギー確保や未利用エネルギーの利活用などにより温室効果ガスの削減を図り、市域全体での効率的・効果的なエネルギーの利活用を進めるとともに、岡山連携中枢都市圏の市町や経済界等と協力して、脱炭素社会に向けた新たな取組について検討を進める。

また、多様な主体との連携による自然体験プログラムの実施や生物多様性の保全に取り組む企業活動の支援、地域での主体的な環境保全活動の担い手づくりを進め、環境保全活動の輪を広げる。

さらに、市民の健康で快適な暮らしや良好な水環境を保全するため、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の適切な役割分担のもと、総合的な汚水処理対策を推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
温室効果ガス排出量(千t・CO ₂)	6,119 (H29 暫定)	5,525 (R5)
汚水処理人口普及率(%)	84.2	90

(具体的な事業)

事業名	内容
地球温暖化対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底した省エネルギーの推進 ・再生可能エネルギーの最大限の導入 ・電気自動車等の普及促進 ・次世代エネルギー導入の推進

・市民と行政双方から課題を提案し解決方法を検討するワークショップの開催

②ESDの推進による地域づくり・人づくりとSDGsの普及・啓発

持続可能な社会づくりを目指し、SDGsの理解促進と新たな実践行動につなげていくため、関連組織等と連携して、イベントやフォーラムなどSDGsの学びの機会を設ける。

また、地域課題を踏まえながらESDの視点で学びと活動を推進できる人材を育成し、SDGsの達成に貢献していく。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
ESDプロジェクト参加団体数(団体)	307	405

(具体的な事業)

事業名	内容
岡山ESDプロジェクト推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修やフォーラム開催のほか、学生を対象としたESDに関するインターンシップ等のプログラムの提供 ・優良事例の顕彰等を実施する岡山ESD推進協議会の経費への助成 ・ESD活動等の情報発信等

③環境保全活動の推進

脱炭素型の都市の実現に向けて、エネルギーの地産地消、省エネルギー化、安定的なエネルギー確保や未利用エネルギーの利活用などにより温室効果ガスの削減を図り、市域全体での効率的・効果的なエネルギーの利活用を進めるとともに、岡山連携中枢都市圏の市町や経済界等と協力して、脱炭素社会に向けた新たな取組について検討を進める。

また、多様な主体との連携による自然体験プログラムの実施や生物多様性の保全に取り組む企業活動の支援、地域での主体的な環境保全活動の担い手づくりを進め、環境保全活動の輪を広げる。

さらに、市民の健康で快適な暮らしや良好な水環境を保全するため、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の適切な役割分担のもと、総合的な汚水処理対策を推進する。

重要業績指標(KPI)	基準値(R1)	最終目標値(R7)
温室効果ガス排出量(千t・CO ₂)	6,119 (H29 暫定)	5,141 (R5)
汚水処理人口普及率(%)	84.2	90

(具体的な事業)

事業名	内容
地球温暖化対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底した省エネルギーの推進 ・再生可能エネルギーの最大限の導入 ・電気自動車等の普及促進 ・次世代エネルギー導入の推進

	<ul style="list-style-type: none"> 岡山連携中枢都市圏の市町や経済界等との取組の検討 		<ul style="list-style-type: none"> 岡山連携中枢都市圏の市町や経済界等との取組の検討
環境づくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や生物多様性についての意識向上を目的とした、多様な主体が開催する自然体験プログラムに対する支援 地域イベントや体験学習等を通じて、里地里山里海の地域づくりを担う新たな人材確保の枠組み形成を推進 地域で自発的に環境を保全・創造する活動を実践する市民や団体等を「エコボランティア」として位置づけて活動を支援 	環境づくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や生物多様性についての意識向上を目的とした、多様な主体が開催する自然体験プログラムに対する支援 地域イベントや体験学習等を通じて、里地里山里海の地域づくりを担う新たな人材確保の枠組み形成を推進 地域で自発的に環境を保全・創造する活動を実践する市民や団体等を「エコボランティア」として位置づけて活動を支援
下水道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> アクションプランに基づく公共下水道の重点的な整備 	下水道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> アクションプランに基づく公共下水道の重点的な整備
<u>(項目追加)</u>		<u>農業集落排水施設の効率的な運営管理</u>	<ul style="list-style-type: none"> <u>効率的・継続的な生活排水対策を推進するため、農業集落排水施設の統廃合、改築・更新の実施</u>
合併処理浄化槽設置補助金事業	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備計画の無い地域や下水道整備の予定が当面<u>ない</u>地域における、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対する補助金の交付 	合併処理浄化槽設置補助金事業	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備計画の無い地域や下水道整備の予定が当面<u>無い</u>地域における、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対する補助金の交付
<u>(項目追加)</u>		<u>海ごみ地域対策推進事業</u>	<ul style="list-style-type: none"> <u>海ごみが堆積するホットスポットを航空写真等の解析等によって市民に周知する仕組みの開発</u>